

## 基準 7 施設・設備及び学生支援

### (1) 観点ごとの分析

観点 7-1-①： 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が整備され、有効に活用されているか。

また、施設・設備における耐震化、バリアフリー化、安全・防犯面について、それぞれ配慮がなされているか。

#### 【観点に係る状況】

本学は、人文社会科学系・教育系・自然科学系の黒髪地区、医学系及び附属病院の本荘・九品寺地区、薬学系の大江地区、附属小・中学校の京町地区及び附属幼稚園の城東町地区を始め全 11 地区からなるキャンパスにおいて、多様な教育研究活動を展開している。土地面積は合計 660,000 m<sup>2</sup> (大学設置基準 186,696 m<sup>2</sup>)、建物面積は合計 428,790 m<sup>2</sup> (大学設置基準 109,708 m<sup>2</sup>) 【資料 7-1-①-A】であり、各キャンパスには、講義室、研究室、実験・実習室、演習室等を有するほか、附属図書館、学内共同教育研究施設、課外活動施設等を設置しており、大学設置基準と比しても十分な土地・建物面積、施設を有している。また、教育研究活動の期間等の変化に応じた施設の効率的な有効活用を目的として、施設の有効利用に関する要項及び教育研究共用スペース運用指針【資料 7-1-①-B、C】を策定し、流動的なプロジェクトにも対応できる共用スペースのマネジメントを行っている。共用スペースの利用者の決定は公募によることを原則とし、プロジェクトスペース（研究スペース、教育スペース、若手研究者スペース）、大学運営スペース（教育研究スペース、事務スペース、避難スペース）として運用しており【資料 7-1-①-D】、平成 26 年度の運用率は 98%である。

また、本学の理念・目標に基づき、中長期的視点に立った計画的な整備を進めていくために、キャンパスマスタープランを策定している【資料 7-1-①-E】。さらに、キャンパスマスタープランの次期更新に向けて、30 年から 50 年の長期的スパンで、社会の変化、多様な要求や課題に対応でき持続可能で普遍的要素を考慮したキャンパス計画の骨格・フレームを示すキャンパスフレームワークプランを平成 23 年度に新たに策定した【資料 7-1-①-F】。バリアフリー対策についても、多目的トイレ、スロープ、エレベーター等の整備を順次実施している【資料 7-1-①-G】。また、耐震化については、全体で 98.3%まで耐震化が進んでおり【資料 7-1-①-H】、平成 27 年度中にすべての耐震化が完了する見込みである。安全・防犯面の配慮としては、災害時における避難場所や非常用自家発電設備の整備、防犯カメラの設置などを進めている【資料 7-1-①-I】。

学生のニーズへの対応に関しては、学長と学生代表との懇談会及び施設利用者満足度調査を行い、学生の要望に対応している【資料 7-1-①-J】。

資料 7-1-①-A 土地・建物面積

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/shisetu/>

資料 7-1-①-B 国立大学法人熊本大学施設の有効利用に関する要項

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000159.htm>

資料 7-1-①-C 国立大学法人熊本大学教育研究共用スペース運用指針

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000160.htm>

## 資料 7-1-①-D 共用スペースの運用状況

| 運用形態       | 運用カテゴリー   | 目的例                                                                  | 面積(㎡) | 運用状況(平成26年度) (%) |
|------------|-----------|----------------------------------------------------------------------|-------|------------------|
| プロジェクトスペース | 研究スペース    | ・競争的資金等の獲得による研究への対応<br>・イノベーション創出総合戦略や経済成長戦略に資する研究への対応教育・研究スペース      | 1,396 | 93               |
|            | 教育スペース    | ・文部科学省が行う各種教育支援プログラムの採択による教育への対応<br>・産業界との連携による実践的教育・訓練等への対応         | 542   | 100              |
|            | 若手研究者スペース | ・博士課程学生、ポスドク、助教等の若手研究者が安全で効果的に教育研究に専念できる教育研究環境づくりへの対応若手研究者を対象としたスペース | 614   | 100              |
| 大学運営スペース   | 教育研究スペース  | ・大学の教育研究施設等への対応                                                      | 6,216 | 100              |
|            | 事務スペース    | ・大学運営に必要な事務への対応                                                      | 902   | 91               |
|            | 避難スペース    | ・改修整備等のための一時避難への対応                                                   | 168   | 76               |
| 合 計        |           |                                                                      | 9,838 | 98               |

出典：国立大学法人熊本大学教育研究共用スペース運用方針から抜粋

## 資料 7-1-①-E キャンパスマスタープラン

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/shisetu/masterplan>

## 資料 7-1-①-F キャンパスフレームワークプラン

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/shisetu/fwplan>

## 資料 7-1-①-G バリアフリー整備状況 (平成 23～26 年度)

(単位：か所)

| 区分    | 多目的トイレ | スロープ | E V | 主な整備状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|--------|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 黒髪地区  | 9      | 11   | 3   | H23 理学部3号館玄関にスロープを設置<br>H23 教育学部本館・文法学部本館改修時に多目的トイレ・スロープ及び階段手すりを設置<br>H23 五高記念館にトイレを設置<br>H24 理学部4号館に多目的トイレを設置<br>H24 特別支援学校体育館整備時に多目的トイレ・スロープを設置<br>H25 自然科学研究科研究棟に多目的トイレを設置<br>H25 附属図書館中央館改修時に多目的トイレ・スロープ及びEVを設置<br>H25 特別支援学校改修時にスロープ・EV・階段手すり及び注意喚起床材を設置<br>H26 国際先端科学技術研究拠点施設整備時に多目的トイレ・スロープ・EV 及び車いす対応駐車場を設置 |
| 本荘地区  | 3      | 5    | 4   | H24 医学部旧ボイラー室改修時にスロープを設置<br>H24 臨床医学教育研究センター整備時に多目的トイレを設置<br>H26 外来診療棟整備時に多目的トイレ・スロープ及びEVを設置<br>H26 国際先端医学研究拠点施設整備時に多目的トイレ・スロープ・EV 及び車いす対応駐車場を設置                                                                                                                                                                    |
| 大江地区  | 1      | 1    | 0   | H23 薬学部講義棟階段に手すりを設置<br>H26 大江体育館改修時に多目的トイレ・スロープを設置                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 京町地区  | 1      | 1    | 0   | H26 附属小学校体育館改修時に多目的トイレを設置                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 城東町地区 | 1      | 3    | 0   | H26 附属幼稚園改修時に多目的トイレを設置                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| その他   | 1      | 1    | 0   | H26 (松島町) 研究宿泊棟改修時に多目的トイレ・スロープを設置                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

出典：施設企画ユニット資料を基に作成

資料 7-1-①-H 耐震化の状況（平成 26 年度データ）

| 区 分   | 耐震化率 (%) | 実施状況                 |
|-------|----------|----------------------|
| 黒髪地区  | 97.8     | 平成 27 年度中に全て耐震化完了見込み |
| 本荘地区  | 98.3     | 平成 27 年度中に全て耐震化完了見込み |
| 大江地区  | 100      | 全て耐震化完了済み            |
| 京町地区  | 100      | 全て耐震化完了済み            |
| 城東町地区 | 100      | 全て耐震化完了済み            |
| その他   | 100      | 全て耐震化完了済み            |
| 大学全体  | 98.3     |                      |

出典：施設企画ユニット資料を基に作成

資料 7-1-①-I 安全・防犯面への配慮（平成 26 年度データ）

## 1) 安全面への配慮

| 区 分   | 避難場所(*2)の指定 |            | 災害用<br>備蓄品 | その他の安全対策の実施状況                                                                                                                                     |
|-------|-------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | 土地          | 建物         |            |                                                                                                                                                   |
| 黒髪地区  | 有<br>(運動場)  | 有<br>(体育館) | 有          | 災害時における地域の避難拠点として、黒髪体育館を改修（平成 26 年度）                                                                                                              |
| 本荘地区  | 無           | 有<br>(体育館) | 有          | 浸水対策のため電話交換設備の地上階への移設（平成 25 年度）及びボイラー等用燃料タンクの容量拡充（平成 25 年度）を実施<br>動物資源開発研究施設において、非常用自家発電設備を整備（平成 25 年度）<br>災害時における地域の避難拠点施設として、本荘体育館を改修（平成 26 年度） |
| 大江地区  | 有<br>(運動場)  | 有<br>(体育館) | 有          | 災害時における地域の避難拠点施設として、大江体育館を改修（平成 26 年度）                                                                                                            |
| 京町地区  | 有<br>(運動場)  | 無          | 有          | 災害時における地域の避難拠点施設として、附属小学校体育館を改修（平成 25 年度）                                                                                                         |
| 城東町地区 | 無           | 無          | 有          | 災害時における地域の避難拠点施設として、幼稚園施設を改修（平成 25 年度）                                                                                                            |

注：(\*2)は、熊本市より「指定緊急避難場所（一時避難場所）」として指定されているもの

## 2) 防犯面への配慮

| 区 分               | 実施状況（防犯設備の設置状況等）                                                                                               |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 黒髪地区（附属特別支援学校）    | 建物周辺に防犯用フェンスを設置                                                                                                |
| 本荘地区（附属病院）        | 防犯カメラ（録画機能付き）を東病棟に 49 台（平成 22 年度）、外来診療棟に 23 台設置（平成 26 年度）<br>また、入退管理システムを東病棟（平成 22 年度）及び外来診療棟等（平成 26 年度）に設置    |
| 京町地区（附属小学校、附属中学校） | 防犯カメラ（録画機能付き）を正門及び駐車場等に 5 台設置（小学校 3 台、中学校 2 台）（平成 25 年度）<br>録音機能付き電話機を設置（小・中学校とも）（平成 25 年度）<br>正門を改修（平成 25 年度） |
| 城東町地区（附属幼稚園）      | 防犯カメラ（録画機能付き）を正門及び駐車場に 2 台設置（平成 25 年度）<br>緊急コールボタンを各教室に設置（平成 25 年度）<br>録音機能付き電話機を設置（平成 26 年度）                  |

出典：施設企画ユニット資料を基に作成

資料 7-1-①-J 施設利用者満足度調査及び学長と学生代表との懇談会による学生のニーズへの対応状況

| 施設名                 | 実施年度     | 要望等                                   | 対応状況                      |
|---------------------|----------|---------------------------------------|---------------------------|
| <b>(施設利用者満足度調査)</b> |          |                                       |                           |
| 文・法学部本館             | 平成 23 年度 | トイレが少ない(H23)                          | 文法学部講義棟にトイレを増設した。         |
| 工学部周辺               | 平成 24 年度 | 駐輪スペースが少ない(H24)                       | 工学部 1 号館周辺に屋根付きの駐輪場を設置した。 |
| 基礎医学研究棟周辺           | 平成 26 年度 | 駐輪スペースが少ない(H26)                       | 基礎医学研究棟周辺に駐輪場を拡張予定。       |
| <b>(学長と学生代表懇談会)</b> |          |                                       |                           |
| 医学部旧ボイラー室           | 平成 23 年度 | 本荘地区の部室が不足している(H22)                   | 旧ボイラー室を改修し、部室を設置した。       |
| 本荘体育館               | 平成 23 年度 | 本荘地区の部室が不足している(H22)                   | 体育館 2 階を改修し、部室を設置した。      |
| 自然科学研究科研究棟          | 平成 24 年度 | オストメイト対応の身障者用便所を設置してほしい(H24)          | オストメイト対応の身障者用便所を設置した。     |
| 黒髪北キャンパス構内          | 平成 24 年度 | 構内道路に外灯を設置してほしい(H24)                  | 既存の水銀灯を撤去し、LED 外灯を増設した。   |
| 黒髪体育館               | 平成 26 年度 | 大雨の時、雨漏りする。(H23)<br>シャワーを整備してほしい(H23) | 体育館の大型改修を実施した。            |
| 黒髪北キャンパス構内          | 平成 26 年度 | 駐輪場を増設してほしい(H25)                      | 全学教育棟前に駐輪場を整備した。          |

出典：施設企画ユニット資料 学務ユニット資料を基に作成

#### 【分析結果とその根拠理由】

本学は、全 11 地区からなるキャンパスにおいて、講義室、研究・実験室等を有するほか、附属図書館、学内共同教育研究施設等を設置しており、十分な土地・建物面積、施設を有している。また、教育研究活動の期間等の変化に応じた施設の効率的な有効活用を目的として、公募により施設の有効活用が図られ、平成 26 年度は共用スペースの 98%を運用している。

また、中長期的視点に立ち、計画的な整備を進めるためのキャンパスマスタープランを策定し、さらに、30 年から 50 年の長期的スパンで、キャンパス計画の骨格・フレームを示すキャンパスフレームワークプランを策定している。バリアフリー対策や耐震化についても順次実施し、安全・防犯面の配慮としては、災害時における避難場所、防犯カメラの設置などを進めつつ、学長と学生代表との懇談会や施設利用者満足度調査により学生の要望に対応している。

以上のことから、大学において教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が整備され、有効に活用され、また、施設・設備の耐震化、バリアフリー化、安全・防犯面について、それぞれ配慮がなされていると判断する。

#### 観点 7-1-②： 教育研究活動を展開する上で必要な ICT 環境が整備され、有効に活用されているか。

##### 【観点到に係る状況】

本学は、基幹ネットワークとして 10bps、各建物内の支線として 1bps の通信速度を持つギガビットネットワークを敷設している。このほか、全学無線 LAN のアクセスポイントを約 450 箇所設置【資料 7-1-②-A】している。総合情報統括センター、附属図書館及び各部局等に約 1,300 台の全学情報教育及び自習支援のためのコンピュータを設置【資料 7-1-②-B、C】し、大学院学生を含めた学生の使用に供している。本学構成員は、これ

らのネットワーク及びコンピュータを利用し、熊本大学ポータルを総合窓口として【資料 7-1-②-D】、学務情報システム (SOSEKI) 【資料 7-1-②-E】にアクセスし、シラバス参照、履修登録、成績参照等を行っており、学生の履修登録を始め、修学支援の ICT 活用が有効に機能すべく学内無線 LAN 環境が整えられている。また、英語の自立的学習を支援する熊大 CALL、授業科目ごとに学生の予習・復習を支援する全学 LMS、教科書等の検索サービスを提供する図書館 OPAC、授業改善のためのアンケート結果公開システム等は学外からも学習が可能となるよう運用している。

情報管理としては、本学情報システムにおける運用の基本となる情報システム運用基本方針及び情報システム運用基本規則を定め、管理体制を定めている【資料 7-1-②-F】。情報セキュリティの確保及びその水準を更に高めるため、e ラーニングを用いた研修を実施している。個人情報の管理等については、個人情報保護に関する方針、個人情報保護規則及び管理規則を定め、個人情報を含めた情報セキュリティの徹底に努めている【資料 7-1-②-G】。

また、ICT 環境に対する学生のニーズに関しては、学長と学生代表との懇談会等により把握し、対応している【資料 7-1-②-H】。

#### 資料 7-1-②-A 全学無線 LAN アクセスポイント設置状況

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 平成 21 年度 ～ 平成 26 年度 | 約 450 箇所 |
|---------------------|----------|

出典：情報企画ユニット調査資料を基に作成

#### 資料 7-1-②-B 総合情報統括センター及び附属図書館におけるコンピュータ整備状況

| 学生用コンピュータ設置場所 (用途)      | 平成 21 年度 ～ 平成 26 年度 |
|-------------------------|---------------------|
| 総合情報統括センター (教科の実習, 自習等) | 約 1,300 台           |
| 附属図書館 (学生の自習, 文献検索等)    |                     |

出典：情報企画ユニット調査資料を基に作成

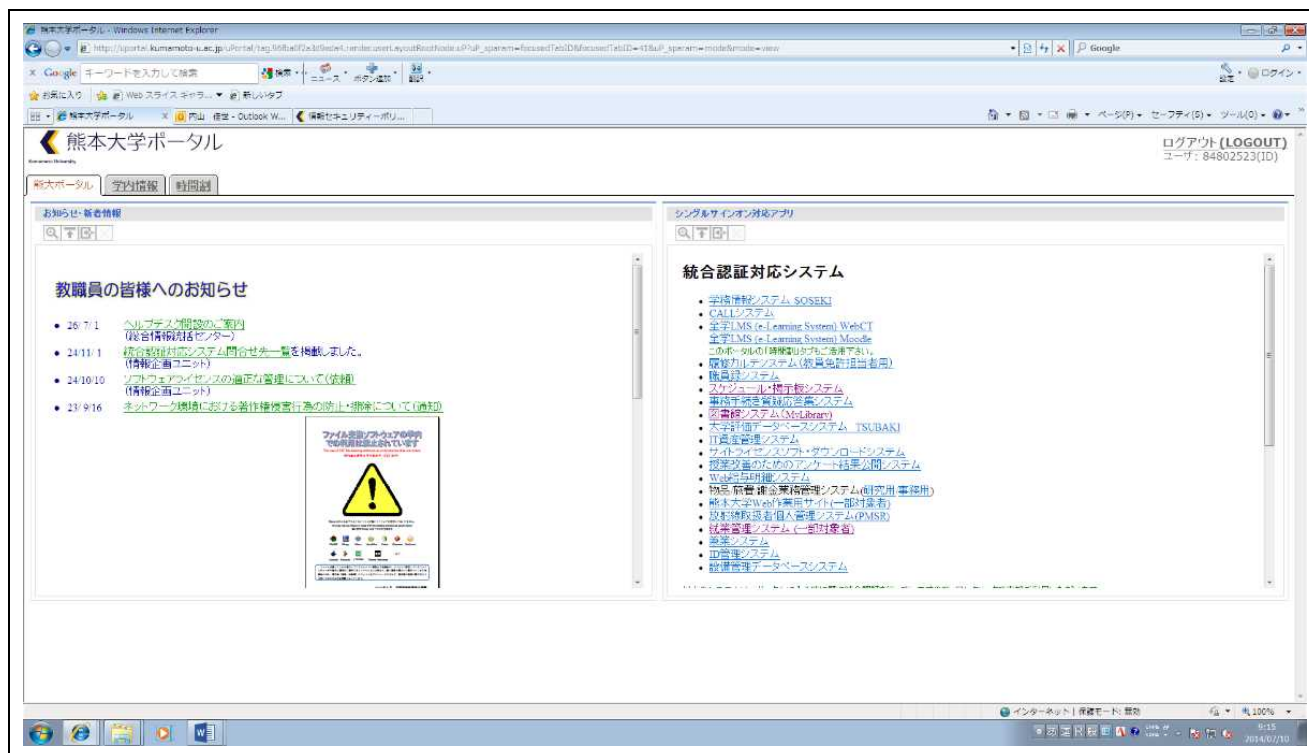
#### 資料 7-1-②-C 各学部等における情報機器室等の整備状況

| 学部等名    | 学生自習室・情報機器                                                                                                                                                                  | 情報機器室・情報機器                                 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 文学部     | 無線 LAN の整備とともに、学生研究室には多くのパソコンが設置され、学生の学習促進の場として機能している。<br>パソコン機器の接続状況、また携帯接続状況に関しては、教員及び学生からの要望が出るごとに対応しており、平成 25 年度には、教養棟屋上への携帯接続用アンテナが設置され、また文学部棟での無線 LAN 接続ポイントが増設されている。 | メディア演習室 2 室                                |
| 教育学部    | 学生自習室には情報機器を整備していない。ただし、各学科等の図書室等にはパソコンおよびプリンタを整備している。                                                                                                                      | 教育学部本館 2 階パソコン室・パソコン 5 台・プリンタ 2 台          |
| 法学部     | 無線 LAN 有り                                                                                                                                                                   | なし                                         |
| 理学部     | 理学部 1・2 号館の小講義室を 8 時～20 時まで自習室として開放している。パソコン室も設置している。                                                                                                                       | 理学部研究棟 6 階パソコン室<br>理学部エントランスにパソコン及びプリンター設置 |
| 医学部医学科  | 学年別自習室 (4～6 年)、6 年生グループ自習室・学内無線 LAN 完備                                                                                                                                      | 情報処理演習室 (PC 130 台)                         |
| 医学部保健学科 | 無線 LAN でのインターネット利用ができるよう整備している。                                                                                                                                             | A204 : パソコン 48 台、B201 : パソコン 32 台          |
| 薬学部     | 図書館自習室 (パソコン 15 台) を自習室として開放、また、学生からの要望で、自習机にもなる個別閲覧机を設置している。                                                                                                               | PC 実習室 (PC100 台)                           |

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 工学部共通            | 工学部 2 号館にて講義の行われていない時間帯については、講義室を自習室として開放している。また、各階のロビーに学習スペースを設け、適宜利用している。                                                                                                                                                                                                                 | 工学研究機器センター2 階セミナー室<br>PC 設置台数は108 台                                            |
| 工学部<br>物質生命化学科   | 8:30~22:00 と 8:00~19:00 の時間において、それぞれ研究棟 II-2 の各階ロビーと図書館を自習室として設けている。収容人数は各 20 名程度となっており、講義の空き時間に利用している。                                                                                                                                                                                     | 該当なし                                                                           |
| 工学部<br>マテリアル工学科  | 8:00~19:00 と 8:30~17:00 の時間において、それぞれ研究棟 I の 2 階ロビーと研究棟 I の 11 階図書室を自習室として設けている。ロビーでは約 40 名程度、図書室では約 20 名程度の収容が可能で、講義の空き時間に利用している。                                                                                                                                                           | 該当なし                                                                           |
| 工学部<br>機械システム工学科 | 8:40~19:00 の時間において、研究棟 I の情報統合教室を自習室として設けている。収容人数は約 10 名程度で、実験の分析等を行っている。                                                                                                                                                                                                                   | 該当なし                                                                           |
| 工学部<br>社会環境工学科   | 9:00~17:00 の時間において、工学部 1 号館の土木インフォメーションルームを自習室として設けている。収容人数は 10 名程度で、就職情報や学生への連絡事項を周知する場としても利用をしている。                                                                                                                                                                                        | 該当なし                                                                           |
| 工学部<br>建築学科      | 24 時間、工学部 1 号館 建築 6 階コラボ室を自習室として設けている。収容人数は 30 名程度で、主に研究や授業に係る設計を行っている。                                                                                                                                                                                                                     | 該当なし                                                                           |
| 工学部<br>情報電気電子工学科 | 8:00~19:00 の時間において、黒髪総合研究棟 1 階リフレッシュプラザを自習室として設けている。収容人数は 20 名程度で、学生団体の場としても利用している。                                                                                                                                                                                                         | 該当なし                                                                           |
| 工学部<br>数理工学科     | 該当なし                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 該当なし                                                                           |
| 社会文化科学研究科        | 共用棟黒髪 6 にコースごとの研究室、演習室、院生研究室、図書室、コンピュータ室を設置し、自主学習環境を十分に整備している。教授システム学専攻の自習室では、必要な設備備品・図書等を十分に配置し、また、ネットワーク環境が供えられた学習環境を整備している。また、主として首都圏に在住する学生のために熊本大学東京オフィス、また関西圏に在住する学生のために熊本大学関西オフィスを、自主学習環境として提供している。東京・関西両オフィスと熊本大学は、専攻の演習室とオフィスを結ぶ双方向遠隔ビデオ会議を可能とし、自主学習を支援するための助言などを遠隔で行える環境が整備されている。 | 博士前期課程、後期課程の演習室、コンピュータ室、学生研究室等のある共用棟黒髪 6 には学内外のネットワークに接続できる十分な数のコンピュータを設置している。 |
| 教育学研究科           | 学生自習室には情報機器を整備していない。ただし、各専修等の図書室等にはパソコンおよびプリンタを整備している。                                                                                                                                                                                                                                      | 教育学部本館 2 階パソコン室・パソコン 5 台・プリンタ 2 台                                              |
| 自然科学研究科          | 全学無線 LAN 及びキャンパス内に設置されているパソコンにより、時間外を含め終日インターネット接続を可能にしている。                                                                                                                                                                                                                                 | 全学設備としてのパソコンに加え、情報電気電子工学専攻は独自の情報機器（サーバー・パソコン 144 台）を提供している。                    |
| 医学教育部            | 学内無線 LAN 完備                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 情報処理演習室（PC 130 台）                                                              |
| 薬学教育部            | 薬学部と同じ                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 薬学部と同じ                                                                         |
| 保健学教育部           | 無線 LAN でのインターネット利用ができるよう整備している。                                                                                                                                                                                                                                                             | 204: パソコン 48 台、B201: パソコン 32 台                                                 |
| 法曹養成研究科          | 法曹養成研究科自習室に、10 台のコンピュータを設置しており、無線 LAN の利用により、ネットワーク環境も整備している。                                                                                                                                                                                                                               | 法曹養成研究科教室に、10 台のコンピュータを設置しており、無線 LAN の利用により、判例検索の方法等について講義する科目（法情報調査）を開講している。  |

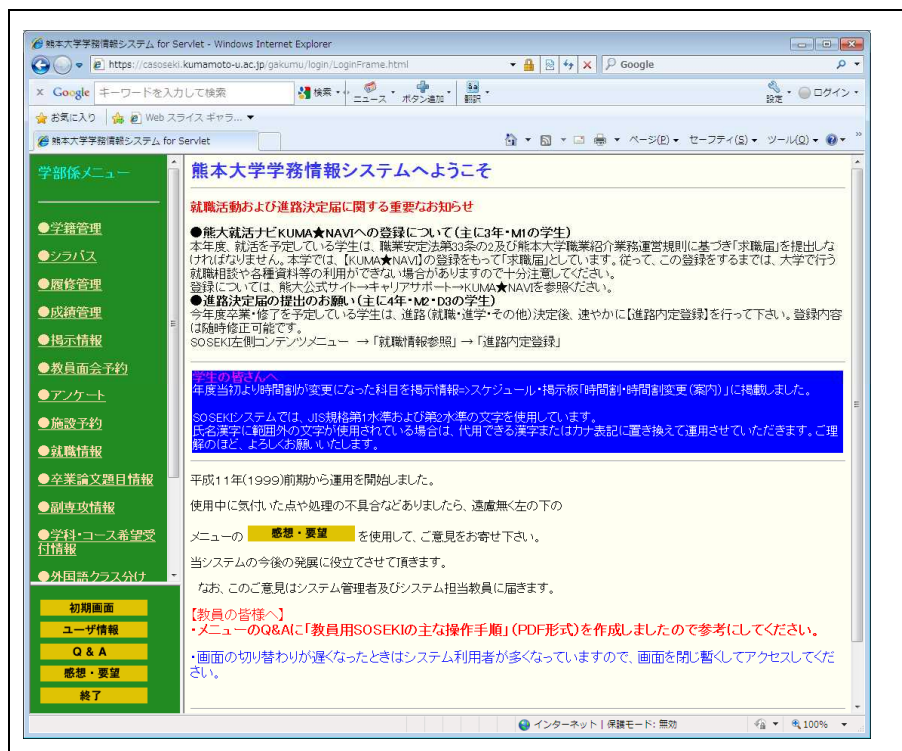
出典：組織評価自己評価書等を基に作成

## 資料 7-1-②-D 熊本大学ポータル



出典：熊本大学ポータル

## 資料 7-1-②-E 熊本大学学務情報システム (SOSEKI)



出典：熊本大学学務情報システム (SOSEKI) (学内専用) を基に作成

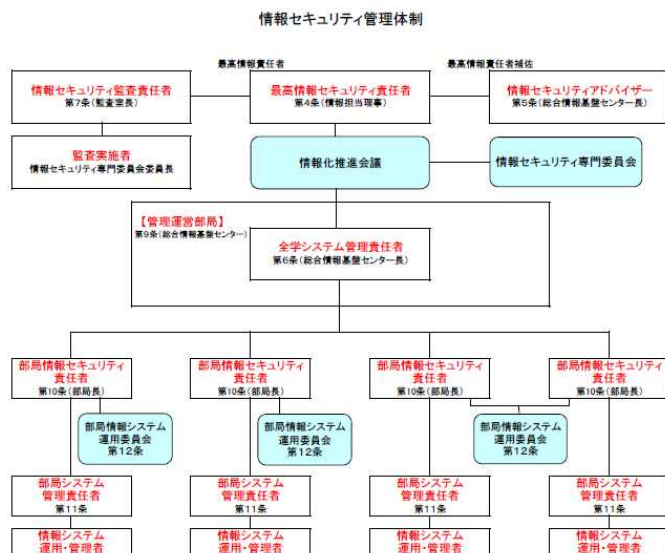
## 資料 7-1-②-F 情報セキュリティポリシー (情報システム運用基本方針、情報システム運用基本規則)

[http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/jouhoukoukai/security\\_policy](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/jouhoukoukai/security_policy)

情報セキュリティ管理体制図

(熊本大学情報システム運用基本規則を基に作成：)

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000721.htm>)



## 資料7-1-②-G 個人情報保護に関する方針等

国立大学法人熊本大学個人情報保護方針:

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/jouhoukougai/tyoutatu/kojinjoho>

国立大学法人熊本大学個人情報保護規則：

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000180.htm>

國立大學法人熊本大學個人情報保護管理規則：

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000181.htm>

## 資料 7-1-②-H 学長と学生代表との懇談会等による学生のニーズへの対応状況

| 実施年度               | 学生からの要望等                                                                                                          | 対応状況                                                                                                                                          |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 26 年度<br>(教育学部) | PC のインターネット接続に時間がかかり、Wi-Fi も接続しにくい。                                                                               | ここ数年の間、接続するデバイスが急速に増えたため、認証装置の能力が足りなくなりましたことによります。今年の 9 月に新しい認証装置を導入しました。こちらを利用するための情報を熊大ポータルの「学生の皆さまへのお知らせ」に掲載していますので参照してください。               |
| 平成 25 年度<br>(文学部)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi(無線 LAN)の環境を改善して欲しい。</li> <li>・メディア演習室のメディア機器をもっと充実してほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業者に調査を依頼し、改善の対応をした。</li> <li>・1 室しかなかったメディア演習室を 2 室に増設し、各室の暗幕カーテン、スクリーン、大型モニターなどを補充、充実させた。</li> </ul> |

出典：各部局調査資料より作成

## 【分析結果とその根拠理由】

基幹ネットワークとして10bps、各建物内の支線として1bpsの通信速度を持つギガビットネットワークを敷設するとともに、全学無線LANのアクセスポイントを約450箇所設置し、総合情報統括センター、附属図書館及び各部局等に、約1,300台の全学情報教育及び自習支援のためのコンピュータを設置している。本学構成員は、これらのネットワーク及びコンピュータを利用し、熊本大学ポータルを総合窓口として学務情報システム（SOSEKI）により、履修登録、成績参照等が行われ、また、英語の自立的学習を支援する熊大CALLなど学外からも利用可能であるなど修学支援のICT活用が有効に機能している。この他、情報セキュリティポリシー、個人情報保護方針、個人情報保護規則等を定め、eラーニングを用いた研修を実施するなど、個人情報を含めた情報セキュリティの徹底に努めている。

以上のことから、教育研究活動を展開する上で必要なICT環境が整備され、有効に活用されていると判断する。

**観点7-1-③： 図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。**

## 【観点に係る状況】

附属図書館は、中央館、医学系分館、薬学部分館で構成され、教育研究活動を支援する情報基盤の一つとして活動し、ネットワークを通じて利用できる電子図書館サービス（各種情報検索、電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼等）の提供などを行っている。附属図書館利用規則を定め、図書館利用案内を作成し、開館時間、サービス時間等を周知している【資料7-1-③-A、B】。中央館は、平成25年10月にリニューアルオープンし、それぞれ閲覧室の充実、収容力の拡大等を行うとともに、グループ学習スペース（ラーニングコモンズ）を確保し、平成27年3月31日現在、蔵書1,263,528冊、雑誌21,216種【資料7-1-③-C～E】を備え、図書、学術雑誌、視聴覚資料等の収集・整理については、系統的に収集、整理している。また、図書館サービスに関する学生のニーズは、アンケート調査の実施および学長と学生代表との懇談会での意見や要望により把握している【資料7-1-③-F、G】。

電子ジャーナルの充実、貴重資料の電子化を計画的に進めるため、平成23年度に「電子コンテンツ整備計画」、「貴重資料の電子化計画」を策定し、整備を進めている【資料7-1-③-H】。その結果平成26年度には、電子ジャーナルを8,640タイトルまで利用可能とし、大手4出版社のダウンロード数は、平成22年度から平成24年度は減少していたが、改修後は増加し、平成26年度には564,720件となっている【資料7-1-③-I、J】。大学の知的生産物である学術論文等を蓄積、保存し、インターネット上で発信する学術リポジトリは、12,600編（内博士論文1,414編）の収録論文数を有している【資料7-1-③-K】。貴重資料については、阿蘇家文書、細川家北岡文庫等の貴重資料を有し、電子化計画に基づき電子化し、本学公式ウェブサイト上で公開している【資料7-1-③-L】。一般市民への図書館開放も行い、平成26年度には、4,004冊の図書を貸し出すなど、地域住民の生涯学習への支援も行っており、開館日数は中央館及び医学系分館はほぼ一年中、薬学部分館が約250日前後、入館者総数523,447人、館外貸出総冊数は78,937冊、文献複写及び相互貸借総数6,918件と多くの者が利用している【資料7-1-③-M～O】。

## 資料7-1-③-A 附属図書館利用規則

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000430.htm>

## 資料 7-1-③-B 附属図書館の開館時間等の案内 (平成 26 年度)

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/guide/calender>

| 【中央館】                    | 通常期の平日                                                          | 休業期(*)の平日  | 土・日・休日                             |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------|
| 開 館                      | 8:40～22:00                                                      | 8:40～17:00 | 12:00～18:00<br>(試験期間中は12:00～20:00) |
| 貸出・返却・更新・予約              |                                                                 |            |                                    |
| コピー機以外の複写                |                                                                 |            |                                    |
| 他機関への相互利用<br>(複写, 資料の貸借) |                                                                 |            |                                    |
| レファレンス(参考調査)             | 9:00～17:00                                                      |            | —                                  |
| 一般書庫の利用                  | 8:40～21:00                                                      | 8:40～17:00 | 12:00～17:30                        |
| グループ学修室の利用               | 9:00～21:30                                                      | 9:00～16:30 | 12:00～17:30                        |
| 貴重書庫・旧館書庫の利用             | 9:00～16:30                                                      |            | —                                  |
| 休 館 日                    | 冬季休業期間中の土・日・休日年末年始(12/28～1/4), 試験期を除く毎月第4水曜, 夏季一斉休業日, その他の臨時休館日 |            |                                    |

| 【医学系分館】                  | 通常期の平日                                 | 休業期(*)の平日  | 土・日・休日      |
|--------------------------|----------------------------------------|------------|-------------|
| 開 館                      | 9:00～21:00                             | 9:00～17:00 | 12:00～18:00 |
| 貸出・返却・更新・予約              | 9:00～21:00                             | 9:00～17:00 | 12:00～18:00 |
| 他機関への相互利用<br>(複写, 資料の貸借) | 9:00～16:30                             |            | —           |
| レファレンス(参考調査)             | 9:00～17:00                             |            | —           |
| グループ学修室の利用               | 9:00～20:30                             | 9:00～16:30 | 12:00～17:30 |
| 休 館 日                    | 休業期間中の土・日・休日, 年末年始, 夏季一斉休業日, その他の臨時休館日 |            |             |

| 【薬学部分館】                  | 平日                               |
|--------------------------|----------------------------------|
| 開 館                      | 9:00～17:00                       |
| 貸出・返却・更新・予約              | 9:00～17:00                       |
| 他機関への相互利用<br>(複写, 資料の貸借) | 9:00～17:00                       |
| レファレンス(参考調査)             | 9:00～17:00                       |
| 休 館 日                    | 土・日・休日, 年末年始, 夏季一斉休業日, その他の臨時休館日 |

(\*)休業期・一斉休業日の日程は年度ごとに変更されます。

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-C 附属図書館施設・整備状況 <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/guide/central#facility>

| 中央館      |                   |                      | 医学系分館 |                      | 薬学部分館 |                    |
|----------|-------------------|----------------------|-------|----------------------|-------|--------------------|
| 延面積      |                   | 8,884 m <sup>2</sup> | 延面積   | 2,440 m <sup>2</sup> | 延面積   | 654 m <sup>2</sup> |
| 座席数      |                   | 646 席                | 座席数   | 226 席                | 座席数   | 58 席               |
| 1階       | ラーニングコモンズ         |                      | PC 席数 | 36 席                 | PC 席数 | 10 席               |
|          | アクティブエリア          |                      |       |                      |       |                    |
|          | グループ学修室(3 室)      |                      |       |                      |       |                    |
|          | 古文書閲覧室(3 室)       |                      |       |                      |       |                    |
|          | PC コーナー           |                      |       |                      |       |                    |
|          | 多目的ラウンジ           |                      |       |                      |       |                    |
|          | 閲覧室               |                      |       |                      |       |                    |
|          | AV コーナー           |                      |       |                      |       |                    |
| 2階       | 閲覧室               |                      |       |                      |       |                    |
|          | スーパーサイレントルーム      |                      |       |                      |       |                    |
|          | PC ルーム            |                      |       |                      |       |                    |
| 1階<br>南棟 | 閲覧室               |                      |       |                      |       |                    |
|          | マイクロフィルム・DVD コーナー |                      |       |                      |       |                    |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-D 蔵書冊数 <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/aboutus/statistics> (単位: 冊)

|    | 平成 22 年度    | 平成 23 年度    | 平成 24 年度    | 平成 25 年度    | 平成 26 年度    |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 和書 | 798, 161    | 794, 335    | 794, 252    | 788, 074    | 780, 195    |
| 洋書 | 491, 430    | 488, 850    | 489, 671    | 488, 273    | 483, 333    |
| 合計 | 1, 289, 591 | 1, 283, 185 | 1, 283, 923 | 1, 276, 347 | 1, 263, 528 |

出典: 図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-E 雑誌所蔵種類数 <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/aboutus/statistics>

(単位: 種)

|     | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 和雑誌 | 13, 757  | 13, 920  | 14, 019  | 13, 890  | 13, 990  |
| 洋雑誌 | 7, 172   | 7, 217   | 7, 231   | 7, 205   | 7, 226   |
| 合計  | 20, 929  | 21, 137  | 21, 250  | 21, 095  | 21, 216  |

出典: 図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-F 学生のニーズ把握方法

改修後の図書館サービスに関するアンケート 結果報告

アンケート実施期間

平成 24 年 5 月 11 日 (金) 12:00~25 日 (金) 23:59

アンケート回答者数

・学部学生 97 名 工学部の学生による回答が 35% を占める。その他の学部は各 7~12% の回答。

学部 1・2 年の回答が合わせて 58% を占める。学部 3・4 年は合わせて 34% の回答。

・学部学生以外 (以下、大学院生と表記) 25 名

自然科学研究科 32%、社会文化科学研究科 24%、その他は各 1~2 名の回答。

・外国人留学生の回答は、大学院生 1 名からのみ。

アンケート結果から

「おおいに利用したい」「利用したい」と回答した学生の割合

1. 協同学習を行うことができるスペースについて

・話し合いをしながら学習できるオープンスペース

学部学生 78% 「どちらでもない」 10% 大学院生 52% 「どちらでもない」 32% 全体 73% 「どちらでもない」 14%

・グループ学習を行うことができる個室

学部学生 77% 「どちらでもない」 16% 大学院生 40% 「どちらでもない」 56% 全体 69% 「どちらでもない」 24%

・プレゼンテーションやプレゼンテーションの練習を行うことができるスペース

学部学生 66% 「どちらでもない」 26% 大学院生 52% 「どちらでもない」 40% 全体 63% 「どちらでもない」 29%

◇ 話し合いをしながらの学習は、学部学生 (66~78%) の期待が大きく、大学院生は学部学生と比べると少ない (40~52%) ものの約半数は期待している。大学院生は所属研究室でグループ学習や演習を行うことができるからではないか。

→ 学部学生・大学院生ともに話し合いが出来る学習環境を希望していることがわかる。

2. 相談サービスについて

・学習方法に関する相談サービス

学部学生 36% 「どちらでもない」 46% 「利用したくない」 14% 大学院生 56% 「どちらでもない」 24%

全体 30% 「どちらでもない」 42% 「利用したくない」 13%

・レポートや論文の書き方に関する相談サービス

学部学生 66% 「どちらでもない」 25% 大学院生 60% 「どちらでもない」 32% 全体 65% 「どちらでもない」 26%

・資料や情報の探し方に関する相談サービス

学部学生 61% 「どちらでもない」 34% 大学院生 84% 「どちらでもない」 8% 全体 65% 「どちらでもない」 29%

◇ 学習方法については学部学生の「利用したくない」という回答の割合が他に比べて高かった。学部学生よりも大学院生の期待が高い。

◇ レポート作成は両者とも同じように期待が高い。学部学生 (66%) 大学院生 (60%)

◇ 資料や情報の探し方は、大学院生 (84%) が多くの期待をしていることがわかる。

→ 提供する相談サービスの内容・対象・実施方法を精査する必要がある。

## 3. 情報機器について

・パソコン・情報機器・ソフトウェアの使い方に関する相談サービス

学部学生 59% 「どちらでもない」 33% 大学院生 44% 「どちらでもない」 40% 全体 55% 「どちらでもない」 35%

・携帯端末 (iPad 等) の館内貸出サービス

学部学生 65% 「どちらでもない」 26% 大学院生 52% 「どちらでもない」 36% 全体 62% 「どちらでもない」 28%

◇ パソコン・情報機器の使い方は学部学生の需要が高い。大学院生は学部学生に比べて情報機器の利用方法について習熟しているためではないだろうか。

◇ 携帯端末の館内貸出サービスは半数以上の学生が利用したいと回答している。

→ IT 機器関連のサービスは、一定程度の需要が見込めるようだ。

## 4. 多言語カフェについて

・語学学習用個人スペース

学部学生 67% 「どちらでもない」 26% 大学院生 60% 「どちらでもない」 32% 全体 65% 「どちらでもない」 30%

・日本人学生と留学生あるいは留学生同士が対外的交流できるスペース

学部学生 45% 「どちらでもない」 44% 大学院生 56% 「どちらでもない」 36% 全体 46% 「どちらでもない」 43%

◇ 語学学習用個人スペースは、学部生 (67%)、院生 (60%) 共に期待が高い。

◇ 交流スペースについては、他のスペースに比べて「利用したい」という回答の割合が低く、「どちらでもない」という回答の割合が高い。他のスペースに比べて若干関心が低い。

→ 個人学習スペースについては需要が見込める。交流スペースの活用方法を精査する必要がある。

## 5. 相談サービスに TA として関わりたいかどうか (大学院生のための設問)

・パソコンソフトや IT 機器の使い方に関する相談サポート

「関わりたい」 20% 「どちらでもない」 52% 「関わりたいくない」 24%

・自分の専門分野に関する学習方法に関する相談サポート

「関わりたい」 56% 「どちらでもない」 32%

・レポートや論文の書き方に関する相談サポート

「関わりたい」 44% 「どちらでもない」 36%

・資料や情報の探し方に関する相談サポート

「関わりたい」 36% 「どちらでもない」 40%

→ 各種相談サービスに TA として関わりたいと考える大学院生が一定の割合で存在することがわかった。

## 6. 自由記述欄について (抜粋)

・ゾーニング

グループ学習ができるスペースを歓迎する意見と共に、静かに学習できる空間と厳密に区分することを希望する意見が多かった。

・家具について、現行の 4 人掛けの机が非効率であるとの意見が目立った。個人用学習席の増設とともに、静的空間の 4 人掛けの机については、あらかじめ仕切りがついているタイプの家具を検討する必要がある。

◇ IT 機器に関する業務は、他の業務に比べて関わりたいと回答した学生の割合が低い。

◇ 自身の専門分野に関する学習相談業務に関わりたいと回答した学生の割合が高い。

出典：平成 24 年度第 2 回附属図書館運営委員会 資料 5

## 資料 7-1-③-G 学生のニーズへの対応状況

| 実施年度     | 教職員・学生からの要望等                   | 対応状況                                                                                                                                      |
|----------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 26 年度 | 附属図書館 (中央館) の開館時間をもう少し延ばして欲しい。 | 中央館の開館時間は、夜間時間帯の利用状況や学生 (利用者) 及び職員の帰路の交通手段並びに安全面等を総合的に勘案して 22 時までと決定している。要望については附属図書館運営委員会で検討し、学生の安全確保を優先することを確認し、この趣旨を学生へ周知するように委員へ依頼した。 |
|          | 薬学部図書館の開館時間を延長してほしい。           | 薬学部分館においては、研究室所属の 3 年生から登録制により「24 時間利用」を活用できるようにしている。                                                                                     |
|          | 図書館の蔵書をより充実させてほしい。             | 蔵書充実の方策として、利用者 (学生) からの意見をもとに購入図書を選定する「学生希望図書」と「学生選書」という制度を設けている。これらは蔵書の質的な充実にも寄与するものである。今後とも可能な限り質・量の両面から図書等の充実を図るとともに、その広報にも力を入れている。    |

出典：「平成 26 年度学長と学生代表との懇談会 (意見・要望等) への回答」報告資料を基に作成

## 資料 7-1-③-H 「電子コンテンツ整備計画」及び「貴重資料の電子化計画」

## 「電子コンテンツ整備計画」

## 電子コンテンツ整備計画

## 1. 背景と目的

本学は、第二期中期目標・中期計画において「ユビキタスな情報社会における学生の自主的学習を支援するため、総合情報環境構想に基づき、図書館の高度情報化を推進する。」とし、教育実施体制等に関する目標を掲げている。附属図書館においては、電子ジャーナルをはじめとした電子コンテンツの整備、図書館システムとシラバス及び e ラーニングシステムとの連携、更にガイダンスの充実を目標としている。

本学の電子コンテンツ整備は、平成 13 年度学内予算「教育研究基盤校費（重点配分経費）」により外国雑誌の電子ジャーナル及び大規模データベースの本格的な導入を開始した。近年はインターネットの普及による情報環境の変化や学術情報の電子化における急速な進展により、電子コンテンツ整備の必要性がより一層高まっている。

このような状況を踏まえ、本学に適した電子コンテンツ整備計画を策定するものである。

## 2. 計画の概要

総合情報環境構想に基づき、図書館の高度情報化を推進するために教育用データベース等の電子コンテンツの整備を行う。電子ジャーナル及びデータベースのトライアル時の利用状況により、本学に必要な電子コンテンツを以下の基本計画により選定する。

出典：平成 23 年度第 4 回附属図書館運営委員会 資料 2-1

## 「貴重資料の電子化計画」

## 貴重資料等の電子化計画

## 1. 背景と目的

本学が所蔵する永青文庫等の貴重資料は、世界的に見ても文化的な価値の高いものであり、電子化やデータベース化による記録や情報サービスは学術的価値のみならず地域社会への知的・文化的貢献になり得るところから、本学では、第二期中期目標・中期計画において「総合情報環境構想に基づき、図書館においては、永青文庫等の貴重資料の電子化等を推進する。」として、目標に掲げている。

附属図書館においては、阿蘇家文書（国指定重要文化財）をはじめとし、熊本大学拠点形成研究チームと文学部附属永青文庫研究センターが連携して解析した「十九世紀熊本藩住民評価・褒賞記録「町在」解析目録検索システムや貴重資料展の解説目録等を既にインターネット公開している。また、平成 22 年 4 月には、所有者、管理者及び利用者の諸権利の保護と当該資料の後世への価値ある継承の保証を目的に「熊本大学附属図書館貴重資料公開指針」を制定した。

このような状況を踏まえ、本学の知の一般社会への還元を推進するために貴重資料等の電子化計画を策定するものである。

## 2. 計画の概要

本学が所蔵する貴重資料を電子化し、記録価値の高いデジタルデータとして残す。また、画像や解説テキスト等をデータベース化し、できるだけ検索可能なものとして、学内外への情報提供サービスに供する。

## 3. 基本計画

- 本学が所蔵する貴重資料の冊子体目録を電子化し、インターネット公開する。
- 毎年開催する貴重資料展の解説目録を電子化し、インターネット公開する。
- 必要に応じて、所蔵する貴重資料の画像・解説テキスト等を電子化およびデータベース化し、インターネット公開する。

出典：平成 23 年度第 4 回附属図書館運営委員会 資料 2-4

## 資料 7-1-③-I 電子ジャーナルの利用可能タイトル数の推移

| 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   | 平成 26 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 6,465 タイトル | 7,945 タイトル | 7,990 タイトル | 8,612 タイトル | 8,640 タイトル |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

## 資料 7-1-③-J 電子ジャーナル大手 4 社 (Elsevier, Springer, Wiley, Blackwell) のダウンロード件数推移

| 平成 22 年度  | 平成 23 年度  | 平成 24 年度  | 平成 25 年度  | 平成 26 年度  |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 570,440 件 | 562,936 件 | 532,735 件 | 547,963 件 | 564,720 件 |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

## 資料 7-1-③-K 「熊本大学学術リポジトリ」の収録論文数

(単位：編)

|          | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 収録論文数    | 8,421    | 9,954    | 11,074   | 12,042   | 12,600   |
| うち博士論文   | 874      | 1,025    | 1,181    | 1,251    | 1,414    |
| うち紀要掲載論文 | 5,697    | 6,327    | 7,023    | 7,722    | 8,009    |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-L 阿蘇家文書等の公式ウェブサイト公開状況 <http://kijima.lib.kumamoto-u.ac.jp/asoke/>資料 7-1-③-M 入館者数及び開館日数 <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/aboutus/statistics>

|       |          | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 中 央 館 | 開館日数 (日) | 332      | 336      | 232      | 252      | 335      |
|       | 入館者数 (人) | 363,440  | 335,758  | 146,864  | 170,330  | 378,747  |
| 医学系分館 | 開館日数 (日) | 342      | 342      | 343      | 346      | 365      |
|       | 入館者数 (人) | 123,041  | 121,305  | 99,106   | 96,497   | 101,917  |
| 薬学部分館 | 開館日数 (日) | 342      | 238      | 232      | 240      | 365      |
|       | 入館者数 (人) | 58,504   | 47,649   | 38,815   | 39,261   | 42,783   |
| 合 計   | 開館日数 (日) | 1,016    | 916      | 807      | 838      | 1,065    |
|       | 入館者数 (人) | 544,985  | 504,712  | 284,785  | 306,088  | 523,447  |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-N 館外貸出冊数 <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/aboutus/statistics>

(単位：冊)

|          | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 中 央 館    | 58,607   | 60,770   | 45,892   | 56,407   | 70,576   |
| (うち一般市民) | (4,343)  | (4,718)  | (3,031)  | (3,298)  | (4,004)  |
| 医学系分館    | 6,531    | 7,059    | 7,338    | 7,552    | 7,718    |
| 薬学部分館    | 856      | 649      | 699      | 644      | 643      |
| 合 計      | 65,994   | 68,478   | 53,929   | 64,573   | 78,937   |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

資料 7-1-③-0 文献複写及び相互貸借 <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/aboutus/statistics>

(単位：件)

|       |      |    | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------|------|----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 中 央 館 | 文献複写 | 依頼 | 1,901    | 1,740    | 2,166    | 1,957    | 1,620    |
|       |      | 受付 | 1,329    | 1,241    | 426      | 416      | 943      |
|       | 現物貸借 | 依頼 | 608      | 451      | 591      | 584      | 591      |
|       |      | 受付 | 365      | 414      | 147      | 170      | 398      |
| 医学系分館 | 文献複写 | 依頼 | 1,370    | 1,191    | 977      | 885      | 1,127    |
|       |      | 受付 | 2,221    | 2,026    | 1,785    | 1,497    | 1,765    |
|       | 現物貸借 | 依頼 | 26       | 18       | 27       | 14       | 11       |
|       |      | 受付 | 14       | 26       | 15       | 5        | 15       |
| 薬学部分館 | 文献複写 | 依頼 | 389      | 324      | 307      | 290      | 323      |
|       |      | 受付 | 187      | 157      | 202      | 145      | 120      |
|       | 現物貸借 | 依頼 | 1        | 4        | 4        | 4        | 2        |
|       |      | 受付 | 11       | 4        | 1        | 1        | 3        |
| 合 計   | 文献複写 | 依頼 | 3,660    | 3,255    | 3,450    | 3,132    | 3,070    |
|       |      | 受付 | 3,912    | 3,424    | 2,413    | 2,058    | 2,828    |
|       | 現物貸借 | 依頼 | 635      | 473      | 622      | 602      | 604      |
|       |      | 受付 | 390      | 444      | 163      | 176      | 416      |

出典：図書館ユニット調査資料を基に作成

## 【分析結果とその根拠理由】

図書館中央館は平成 25 年度に改修し、機能の充実を図った。現在、蔵書 1,263,528 冊、雑誌 21,216 種、電子ジャーナル 8,640 タイトル等を有するほか、貴重資料である阿蘇家文書等を電子化し、本学公式ウェブサイト上で公開するなどのサービスも提供している。さらに、学術リポジトリを介して、大学の知的生産物である学術論文等 12,600 編（内博士論文 1,414 編）を本学公式ウェブサイト上に公開している。貴重資料については、阿蘇家文書、細川家北岡文庫等の貴重資料を有し、電子化計画に基づき電子化し、本学公式ウェブサイト上で公開している。一般市民への図書館開放も行っており、図書の貸出（4,004 冊）を可能とするなど、地域住民の生涯学習への支援を行っている。開館日数は中央館及び医学系分館はほぼ一年中、薬学部分館が約 250 日前後であり、平成 26 年度は入館者総数 523,447 人、館外貸出総冊数は 78,937 冊、文献複写及び相互貸借総数 6,918 件と多くの者が利用している。

以上のことから、図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されていると判断する。

観点 7-1-④： 自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されているか。

## 【観点に係る状況】

各学部・研究科は、学生が自由に利用できる部屋や空き時間の講義室等を自習室として整備しており、学生自習スペースの確保に向けた取組を行っている【資料 7-1-④-A、B】。また、附属図書館中央館を平成 25 年度に改修し、学生の自主的な学習環境整備のため、グループ学習スペース（ラーニングコモンズ）を整備し、1 階部分はグループ討論やプレゼンテーションの練習、あるいは友人同士で学びあえる「動」のスペースを設け、飲食が可能な場も設けている。2 階部分は静かに研究や学習に取り組む「静」のスペースを設けている。さらに半地下には、ビデオ鑑賞等、地下には「蓄」のスペースとして、国の重要文化財である細川家資料など 6 万点もの資料を保管している。特に 1 階及び 2 階のスペースは目的に応じて、TA による学習支援サービス、数人のメンバー

による卒業研究、試験期の学習など頻繁に活用されている【前掲資料 7-1-③-C、資料 7-1-④-C】。なお、附属図書館各館の開館時間は、学生の授業後の学習の利用を考慮し、平日は中央館で夜 21 時 30 分までのグループ学修が可能となっており、土日休日においても開放している【前掲資料 7-1-③-B】。さらに、英語学習支援システム（CALL）は、自宅のパソコンからもアクセス可能となっており、1 年次よりも 2 年次において自習時間でより活用されている【資料 7-1-④-D】。

#### 資料 7-1-④-A 自習室の設置状況

| 学部名       | 設置場所数 | 収容者数合計(人) |
|-----------|-------|-----------|
| 文学部       | 22    | 333       |
| 教育学部      | 83    | 1,325     |
| 法学部       | 1     | 24        |
| 理学部       | 3     | 120       |
| 医学部       | 5     | 116       |
| 工学部       | 9     | 237       |
| 社会文化科学研究科 | 1     | 185       |
| 法曹養成研究科   | 1     | 128       |
| 養護教諭特別科   | 1     | 10        |
| 教養教育機構    | 2     | 100       |
| 合計        | 128   | 2,578     |

※各部局等で自習室として設置している場所であり、上記の他、部局等により、空き時間における講義室・研究室等を個別に開放している。

出典：各部局調査資料を基に作成

#### 資料 7-1-④-B 学生自習スペースの確保、取組の概要

| 学部名         | 学生自習スペースの確保                                                                                                                                                                                                |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文学部         | 空き教室を時間外自習用に開放                                                                                                                                                                                             |
| 教育学部・教育学研究科 | 空き教室を時間外自習用に開放、自習室を常時利用可                                                                                                                                                                                   |
| 法学部         | 学生自習室、自主ゼミ室、学生ロビー、教室の空き時間を自習用に開放                                                                                                                                                                           |
| 理学部         | 理学部 1・2 号館小講義室を時間外自習用に開放                                                                                                                                                                                   |
| 医学部医学科      | チュートリアル実習室等を設け、加えて空き教室を時間外自習用に開放                                                                                                                                                                           |
| 医学部保健学科     | 学生自習室及び情報演習室を開放                                                                                                                                                                                            |
| 薬学部         | 図書館、講義室、研修室、パソコン室等を自習室として開放                                                                                                                                                                                |
| 工学部         | 各棟のリフレッシュホール 45 ヶ所、フリースペース 7 ヶ所、ものクリ工房工作室、その他学生支援室等を設置                                                                                                                                                     |
| 社会文化科学研究科   | 共用棟黒髪 6 にコースごとの研究室、演習室、院生研究室、図書室、コンピュータ室を設置。また、主として首都圏に在住する学生のために熊本大学東京オフィスを、また関西圏に在住する学生のために熊本大学関西オフィスを、自主学習環境として提供している。東京・関西両オフィスと熊本大学は、専攻の演習室とオフィスを結ぶ双方向遠隔ビデオ会議を可能とし、自主学習を支援するための助言などを遠隔で行える環境が整備されている。 |
| 自然科学研究科     | 総合情報統括センターなどの全学自主学習環境を利用                                                                                                                                                                                   |
| 医学教育部       | 各大学院生の所属する研究室及び附属図書館医学系分館を利用                                                                                                                                                                               |
| 薬学教育部       | 附属図書館薬学部分館（机 58 台、PC15 台）を利用                                                                                                                                                                               |
| 保健学教育部      | 大学院生室（5 室）、自習室（4 室）を設置し、無線 LAN 環境を整備している。                                                                                                                                                                  |
| 法曹養成研究科     | 学習場所の確保として、法曹養成研究科自習室には各学生 1 台の専用キャレルが設置されており（キャレル総数 128 席）、10 台の PC が設置され、無線 LAN の利用により、ネットワーク環境も整備している。また、教員監修または学生のための自主ゼミが多く存在し、場所としては、演習室、自主ゼミ室の他、自習室棟の談話室、学生指導室が活用できる。                               |

出典：平成 26 年度組織評価自己評価書を基に作成

資料 7-1-④-C 附属図書館中央館リニューアル1周年を迎えて

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/relibrary#20141001>

・熊本大学附属図書館活動記録（ラーニングコモンズ）～1年の歩み～

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/sites/default/files/%28H25.10%EF%BD%9EH26.9%EF%BC%89.pdf>

資料 7-1-④-D 熊本大学英語学習支援システム（CALL）の利用状況

| 学年  | 年度   | 学期 | 登録人数 | 授業合計(h) | 自習合計(h)  | 授業平均(h) | 自習平均(h) |
|-----|------|----|------|---------|----------|---------|---------|
| 1年次 | 2005 | 前期 | 994  | 9369.09 | 9201.71  | 9.43    | 9.26    |
|     |      | 後期 | 879  | 8086.56 | 8016.43  | 9.20    | 9.12    |
|     | 2006 | 前期 | 997  | 8814.68 | 8932.05  | 8.84    | 8.96    |
|     |      | 後期 | 860  | 7265.71 | 9742.58  | 8.45    | 11.33   |
|     | 2007 | 前期 | 971  | 8356.52 | 9991.99  | 8.61    | 10.29   |
|     |      | 後期 | 902  | 7325.02 | 14146.58 | 8.12    | 15.68   |
|     | 2008 | 前期 | 982  | 7056.95 | 10913.80 | 7.19    | 11.11   |
|     |      | 後期 | 871  | 6638.21 | 11478.39 | 7.62    | 13.18   |
|     | 2009 | 前期 | 979  | 7919.96 | 8596.83  | 8.09    | 8.78    |
|     |      | 後期 | 880  | 6744.76 | 9013.87  | 7.66    | 10.24   |
|     | 2010 | 前期 | 990  | 7179.13 | 9171.89  | 7.25    | 9.26    |
|     |      | 後期 | 878  | 6711.88 | 9112.00  | 7.64    | 10.38   |
|     | 2011 | 前期 | 963  | 6910.97 | 8162.38  | 7.18    | 8.48    |
|     |      | 後期 | 896  | 6594.25 | 9338.35  | 7.36    | 10.42   |
|     | 2012 | 前期 | 995  | 7384.16 | 7839.54  | 7.42    | 7.88    |
|     |      | 後期 | 907  | 6271.75 | 9613.10  | 6.91    | 10.60   |
|     | 2013 | 前期 | 978  | 7042.65 | 7097.42  | 7.20    | 7.26    |
|     |      | 後期 | 869  | 6904.02 | 6416.19  | 7.94    | 7.38    |
|     | 2014 | 前期 | 905  | 5940.00 | 7653.00  | 6.56    | 8.45    |
|     |      | 後期 | 402  | 3363.78 | 2076.05  | 8.37    | 5.16    |
| 2年次 | 2006 | 前期 | 435  | 3508.91 | 2574.50  | 8.07    | 5.92    |
|     |      | 後期 | 459  | 4143.99 | 3237.11  | 9.03    | 7.05    |
|     | 2007 | 前期 | 468  | 3683.11 | 5568.68  | 7.87    | 11.90   |
|     |      | 後期 | 468  | 3879.38 | 6869.79  | 8.29    | 14.68   |
|     | 2008 | 前期 | 450  | 3524.11 | 7717.81  | 7.83    | 17.15   |
|     |      | 後期 | 449  | 4337.89 | 5309.42  | 9.66    | 11.82   |
|     | 2009 | 前期 | 464  | 4072.07 | 4999.74  | 8.78    | 10.78   |
|     |      | 後期 | 442  | 3841.51 | 5509.05  | 8.69    | 12.46   |
|     | 2010 | 前期 | 448  | 4040.83 | 4708.62  | 9.02    | 10.51   |
|     |      | 後期 | 451  | 3811.08 | 5188.16  | 8.45    | 11.50   |
|     | 2011 | 前期 | 413  | 3492.69 | 4901.11  | 8.46    | 11.87   |
|     |      | 後期 | 440  | 3804.43 | 5645.14  | 8.65    | 12.83   |
|     | 2012 | 前期 | 425  | 3525.77 | 5066.82  | 8.30    | 11.92   |
|     |      | 後期 | 212  | 1680.65 | 2916.83  | 7.93    | 13.76   |
|     | 2013 | 前期 | 184  | 1492.42 | 1303.95  | 8.11    | 7.09    |
|     |      | 後期 | 210  | 1707.00 | 2652.00  | 8.12    | 12.69   |

出典：情報企画ユニット調査資料を基に作成

#### 【分析結果とその根拠理由】

各学部・研究科は、学生が自由に利用できる部屋や空き時間の講義室等を自習室として設定しており、附属図書館の中央館については、学生の自主学習の目的に応じて、「動」と「静」のスペースが使い分けられ活用されている。開館時間も授業後の学習を支援するために夜遅くまで利用できる時間が設定され、さらに、英語学習支援システム（CALL）は、自宅のパソコンからもアクセス可能となっており、自主的学習の充実に努めている。

以上のことから、自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていると判断する。

## 観点 7-2-①: 授業科目、専門、専攻の選択の際のガイダンスが適切に実施されているか。

## 【観点に係る状況】

学部新入生には、学部・学科等ごとに学生便覧や学生案内などを基にガイダンスを実施しており、教養教育と専門教育の内容、授業の履修登録方法等の履修指導、卒業要件等について説明している。2年生以上の学生には、年度当初に学部・学科等ごとに履修に関するガイダンスや、コース選択のためのガイダンス、履修単位などの成績確認等を実施している【資料 7-2-①-A】。大学院課程においても、学部・学科同様に1年生に履修指導、2年生以上には成績確認や進路指導等を専攻等の特性に応じたガイダンスを実施し、カリキュラムや履修上の注意等について説明している【資料 7-2-①-B】。

資料 7-2-①-A 学士課程におけるガイダンス実施状況

| 学部等名 | 実施時期   | 実施対象者 | 実施内容                                                                                |
|------|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 文学部  | 4月     | 1年    | 専門教育の概要説明                                                                           |
|      |        | 2年    | 履修コースガイダンス                                                                          |
|      | 1月     | 1年    | 2年次進級時に履修コースを決定するための概要説明                                                            |
|      |        | 3年    | 3年次編入学生に対する専門教育の履修指導                                                                |
|      | 常時     | 全学年   | オフィスアワーによる生活指導・履修指導                                                                 |
| 教育学部 | 4月     | 1年    | 教養教育及び専門教育の履修指導                                                                     |
|      |        | 2年    | 履修ガイダンス<br>履修単位が極端に少ない学生に対する指導                                                      |
|      |        | 3年    | 履修ガイダンス<br>学生ごとの成績確認、学習指導、進路指導                                                      |
|      |        | 4年    | 履修ガイダンス<br>卒業論文着手者への指導                                                              |
|      | 3月     | 1～3年  | 学生ごとの成績確認、学習指導、進路指導                                                                 |
|      | 常時     | 全学年   | オフィスアワーによる生活指導、履修指導                                                                 |
| 法学部  | 4月     | 1年    | 履修ガイダンス（カリキュラム概要説明 他）                                                               |
|      |        | 2年    | 履修ガイダンス（3年次進級要件 他）                                                                  |
|      |        | 3年    | 履修ガイダンス（卒業要件 進路指導 他）                                                                |
|      |        | 4年    | 履修上の注意点と登録方法の要点（卒業要件 卒業論文 他）                                                        |
|      | 4, 10月 | 全学年   | 演習担当者による履修指導                                                                        |
|      | 7月     | 3年    | インターンシップの説明                                                                         |
| 理学部  | 4月     | 1年    | 理学部教育プログラム制の概要説明<br>具体的な教養教育・専門教育（基盤科目）などの履修・学習指導                                   |
|      |        | 2年    | 共通科目に対する履修・学習指導<br>教育職員免許、学芸員資格の取得方法のガイダンス                                          |
|      |        | 3, 4年 | プログラム毎の展開科目・発展科目に対する履修・学習指導<br>課題研究を含めた進路指導、インターンシップの説明                             |
|      |        | 2年    | 3年へ進級できなかった留年者に対し、学部長面談を実施                                                          |
|      | 4, 10月 | 2年    | チューター面談                                                                             |
|      | 5, 11月 | 1, 2年 | 欠席者調査（基盤・共通科目の欠席が多い学生を調査し、担任・チューターから指導）                                             |
|      | 6月     | 2年    | 選択する教育プログラムの希望調査                                                                    |
|      | 10月    | 1年    | プログラム毎に、理念、到達目標、学習・研究内容、卒業後の進路を説明<br>希望者に面談し、後期履修指導<br>履修単位が極端に少ない学生に指導             |
|      | 10月    | 2年    | プログラム毎に、理念、到達目標、学習・研究内容、卒業後の進路を説明<br>履修単位が極端に少ない学生に指導<br>3年へ進級できなかった留年者に対し、学部長面談を実施 |
|      | 12月    | 1年    | チューター面談                                                                             |

|         |        |       |                                            |
|---------|--------|-------|--------------------------------------------|
|         | 3月     | 1～3年  | 学生ごとに成績確認。履修単位が極端に少ない学生には保護者に連絡するなどの指導。    |
| 医学部     | 4月     | 1年    | 教養教育、専門教育の概要説明、履修指導、学習指導、生活指導              |
|         |        | 2～6年  | 履修指導、学習指導、生活指導                             |
| 医学部保健学科 | 4月     | 1年    | 教養教育、専門教育の概要説明、履修指導                        |
|         |        | 2～4年  | 履修指導、学習指導、生活指導                             |
| 薬学部     | 4月     | 1年    | 履修指導、生活指導                                  |
|         |        | 2, 3年 | 履修指導、学習指導                                  |
|         |        | 留年者   | 面談による履修指導、生活指導                             |
|         | 7月     | 3年    | 薬学科研究室配属のためのガイダンス                          |
|         | 10月    | 2年    | 創薬・生命薬科学科学生に対する面談による履修指導                   |
|         | 12月    |       | 創薬・生命薬科学科研究室配属のためのガイダンス                    |
|         | 3月     | 1～3年  | 学生ごとの成績確認、履修指導                             |
|         | 常時     | 4年    | 学生ごとの成績確認、学習指導、進路指導、卒業研究着手者への指導            |
| 工学部     | 4, 10月 | 1～3年  | 履修計画確認、指導<br>単位取得状況確認、学習指導                 |
|         | 4月     | 4年    | 卒業研究着手有資格者への指導<br>履修単位が極端に少ない学生への指導        |
|         | 5, 6月  | 1～4年  | 履修登録期間未登録者、成績不振者への学習指導                     |
|         | 6～8月   | 3年    | インターンシップの指導<br>(前学期インターンシップ科目履修者数)         |
|         | 10月    | 4年    | 卒業要件を充足懸念学生への履修指導<br>(卒業見込判定資料による単位不足の学生数) |
|         | 12月    | 3年    | 企業見学実施計画の説明<br>(物質生命化学科、機械システム工学科)         |
|         | 1月     | 4年    | 卒業研究状況確認、学習指導                              |
|         | 3月     | 1年    | 履修計画確認、指導                                  |
|         |        | 2, 3年 | 単位取得状況確認、履修指導、学習指導                         |
|         |        | 3年    | 卒業研究着手有資格者への指導                             |

出典：各学部教務委員会資料等を基に作成

#### 資料7-2-①-B 大学院課程におけるガイダンス実施状況

| 研究科等名     | 実施時期   | 実施対象者 | 実施内容                                       |
|-----------|--------|-------|--------------------------------------------|
| 教育学研究科    | 4月     | 1年    | 大学院教育概要説明、履修指導、研究着手指導                      |
|           |        | 2年    | 成績確認、学習指導、進路指導、履修指導                        |
|           | 4月以降   | 1, 2年 | 課題研究指導                                     |
|           | 5月     | 2年    | 修士論文題目決定のための指導                             |
|           | 3月     | 1年    | 学生ごとの成績確認、履修指導、学習指導                        |
|           | 常時     | 全学年   | オフィスアワーによる生活指導、履修指導、進路指導                   |
| 社会文化科学研究科 | 4月     | 1年    | 専門教育の概要説明、履修指導                             |
|           | 常時     | 1, 2年 | オンライン上の履修指導、学習指導、進路指導                      |
| 自然科学研究科   | 4, 10月 | 1年    | 専門教育の概要説明、履修指導                             |
|           |        | 2年    | 成績確認、学習指導、進路指導<br>標準修業年限修了者に対して学位論文着手者への指導 |
|           | 9, 3月  | 2年    | 成績確認、学位取得に向けての指導                           |
| 医学教育部     | 4, 10月 | 1年    | 履修ガイダンス                                    |
| 保健学教育部    | 4月     | 1年    | 履修ガイダンス                                    |
| 薬学教育部     | 4月     | 1年    | 履修ガイダンス                                    |
| 法曹養成研究科   | 9月     | 1～3年  | 学生ごとの成績確認、履修指導、学習指導<br>司法試験にむけての指導         |
|           | 3月     | 1年    | ガイダンス                                      |
|           |        | 2, 3年 | 履修指導                                       |
|           | 常時     | 1～3年  | インストラクターによる履修指導、学習指導、授業担当者による学習指導          |

出典：各研究科等教務委員会資料等を基に作成

【分析結果とその根拠理由】

学部・大学院等は、対象年次別に、当該学生に対して学生便覧や学生案内などを基に履修方法やコース選択、卒業要件や成績確認等のためのガイダンスを3月～4月を中心に定期的に適切に実施している。

以上のことから、授業科目や専門、専攻の選択の際のガイダンスが適切に実施されていると判断する。

**観点7-2-②：** 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されており、学習相談、助言、支援が適切に行われているか。

また、特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への学習支援を適切に行うことのできる状況にあり、必要に応じて学習支援が行われているか。

【観点に係る状況】

学長と学生代表との懇談会、学生相談窓口及び学生生活実態調査（別添資料16）等を通して、学習支援に関する学生のニーズの把握に努めている【資料7-2-②-A】。学士課程では、新入生オリエンテーションと必修の情報基礎科目において、カリキュラムの内容に加え、統合認証の熊本大学ポータル、シラバスの閲覧・検索、履修登録等を行うための学務情報システム（SOSEKI）、LMS等の説明を行っている。また、教養教育科目「ベーシック」の中で、eラーニングシステムと連携して「図書館活用法」を実施するなど、図書館の活用について説明を行っている【資料7-2-②-B】。専門教育では、履修指導担当教員・チューター・インストラクターを配置し、学習相談、助言、支援を実施している。大学院課程では、研究指導教員等の学習相談、助言、支援のほか、法曹養成研究科では、学生一人ひとりに専任教員2人のインストラクターがつき、学習面・生活面の相談を行うインストラクター制度を設けている【資料7-2-②-C】。

また、特別な支援が必要な学生への学習支援に関して、留学生については、グローバル教育カレッジでの支援のほか、人文社会科学・教育系、自然科学系、生命科学系の3地区に、国際業務専従の事務職員「国際業務推進オフィサー」を1名ずつ配置し、留学生の多様な相談に迅速・適切に対応する体制を整備している。また、留学生を主に学習面においてサポートするため、留学生チューターを配置している【資料7-2-②-D】。留学生への情報提供に関しては、熊本大学公式ウェブサイトの多言語化（英語、中国語、韓国語）を進めている。さらに平成25年3月には留学生の手引きを作成し、留学生の学習・生活支援等について情報提供を行っている【資料7-2-②-E】。障がいのある学生等に対しては、発達障がい、視覚障がい、聴覚障がい、肢体が不自由な学生等に対し、支援を行っている【資料7-2-②-F】。聴覚障がいのある学生に対しての支援事例として、ノートテイク事業に関する学内講習会を実施してノートテイク者を養成し、支援を行っている【資料7-2-②-G】。社会人学生に対しては、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる長期履修制度（各部局毎に長期履修細則）を設けている。その他、社会人学生のニーズ調査を実施し、授業のeラーニングコンテンツの充実や科目のビデオ化などの調査結果を基に、eラーニング科目の開講、コンテンツを37%から63.5%まで充実させるなど学習支援を実施している【資料7-2-②-H】。

## 資料 7-2-②-A 学長と学生代表との懇談会等での要望に対する対応状況（抜粋）

[http://www.kumamoto-u.ac.jp/private/jimu\\_section/gakumu/kyouiku/kondankai](http://www.kumamoto-u.ac.jp/private/jimu_section/gakumu/kyouiku/kondankai) 学内専用

| 実施年度     | 要望等                                                                                                                                                         | 対応等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 26 年度 | <p>本学では、情報セキュリティ教育が充実しているが、実際はそのような教育が行われていることも知らず、無関心である学生が多い。今後の社会において身につけておくべき内容であることは間違いないので、情報セキュリティ教育についてもっと学生に周知徹底し、場合によっては必修化するなどの体制を整えていただきたい。</p> | <p>【学務ユニット】<br/>1 年次前学期に「情報基礎 A」、1 年次後学期に「情報基礎 B」を必修科目として開講して、情報通信技術を活用した情報処理能力を身につけるだけでなく、ネットワーク社会において不可欠な情報倫理・情報セキュリティについても学んでいます。また、2 年次の一部の学部・学科では、「情報処理概論」を開講して、情報ネットワークの仕組みやインターネットのセキュリティに関する基礎事項が説明できることを目指しています。</p> <p>【情報企画ユニット】<br/>本学では、情報セキュリティ教育の学生への実施については、昨年度より全学生に対する「情報セキュリティ研修」を開講していますが、昨年度の受講率が 2.5%と低かったため、今年度は「全学生に対してのメールの送信」、「教務事務室での開講ポスター掲示」、「毎週、受講率を明記した学部長等への受講促進への依頼文書送付」等を行って受講率のアップを試みたところ今年度は 42.89%となりました。次年度以降も情報セキュリティ研修の受講率 100%を目指して、様々な対策を実施して情報セキュリティ研修の周知徹底を図る予定です。</p> |
| 平成 25 年度 | <p>学部学生への学習、論文相談に院生を採用してはどうか。</p>                                                                                                                           | <p>全学教育棟 4 階のライティング指導室において、既に論文指導等を行っております。また、改修した附属図書館におけるラーニング・コモンズ空間を新たな教育・学習支援の場と捉え、学習支援要員として大学院学生の配置ができないか関係部署と協議を進めているところです。アカデミックライティング、論文文献の探し方、IT 機器の活用などの自律的学習支援の充実に取り組んでおります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 平成 24 年度 | <p>海外留学に関する広報手段として掲示のみでなく、学生への周知方法を再検討してほしい。現状では関心はあっても、情報を得る機会が少ない。</p>                                                                                    | <p>海外留学に関する告知方法としては、現在、掲示板に加えて、本学ポータルサイト掲示板において周知を行っています。ポータルサイト掲示板においては、掲示情報を受け取ることができますので、ご利用ください。国際戦略ユニットでは、今後、留学希望者や留学生との交流を希望する学生へのメーリングリストでの情報発信についても検討しています。また、上述の海外留学体験者の留学成果発表会やシリーズ留学説明会「留学のススメ」において、留学希望者向けの支援や留学体験談の紹介を行っていますので、積極的にご参加下さい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |

出典：学長と学生代表との懇談会（意見・要望等）より抜粋

## 資料 7-2-②-B 新入生を対象とする教養教育の履修指導及び生活指導等の実施状況

|                                              | 時期  | 担当          | 実施内容                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------|-----|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修指導                                         |     |             |                                                                                                                                       |
| 教養教育<br>カリキュラム<br>熊大ポータル<br>SOSEKI<br>全学 LMS | 4 月 | 教養教育機構      | 7 つの教科単位の教養教育カリキュラムの説明。<br>高度情報キャンパスで学ぶための IT 基本知識、統合認証、熊大ポータル、学務情報システム SOSEKI によるシラバス閲覧、検索、履修登録、成績確認等、遠隔学習支援・指導システム(全学 LMS)の活用方法を解説。 |
| 学生相談                                         |     |             |                                                                                                                                       |
| セクシュアル・ハラスメント                                | 4 月 | 学生相談室       | 「セクシュアル・ハラスメント相談」、「学生ボランティア相談」等の説明。                                                                                                   |
| 保健管理                                         |     |             |                                                                                                                                       |
| 健康診断                                         | 4 月 | 保健センター      | 心と身体の悩み何でも相談、性に関する相談、学生心理相談、定期健康診断、スポーツクリニック等の案内。                                                                                     |
| 留学生支援                                        |     |             |                                                                                                                                       |
| 留学生支援等                                       | 4 月 | グローバル教育カレッジ | 「留学生相談」、「留学生向けチューター制度」、住居情報、留学生向け奨学金情報、在留資格相談などの説明。                                                                                   |
| 保険・補償                                        |     |             |                                                                                                                                       |
| 学生保険等                                        | 4 月 | 学務ユニット      | 「学生教育研究災害傷害保険」、「医学生総合補償制度」等への加入を奨励。                                                                                                   |
| 就職支援                                         |     |             |                                                                                                                                       |

|                      |            |            |                                                                                       |
|----------------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| キャリア科目               | 4月         | キャリア支援ユニット | キャリア科目、就職講座、キャリアデザインセミナー、熊大ワークデザイン講座、大手業界説明会等の案内。                                     |
| 課外活動                 |            |            |                                                                                       |
| 公認サークル               | 4月         | 学生委員会      | 公認サークル(体育系 42 団体、文化系 36 団体、熊大祭実行委員会)、サークルリーダー会議などの説明。                                 |
| 図書館ガイダンス             |            |            |                                                                                       |
| 図書館活用法               | 4, 6, 11 月 | 図書館        | 教養教育「ベーシック」の中で実施 新入生 1,681 名、再履修 15 名、合計 1,696 名                                      |
| 図書館ガイダンス (文献検索)      | 5～6月, 10月  |            | 図書館主催ガイダンス (中央館で開催。日本語論文、外国語論文、新聞記事など文献検索について説明) (5～6月、27 回開催、95 名) (10月、20 回開催、50 名) |
| 授業と連携したガイダンス (中央館)   | 4～11 月     |            | 授業と連携し、中央館もしくは学部で開催 (14 回、345 名)                                                      |
| 授業と連携したガイダンス (医学系分館) | 4～11 月     |            | 授業と連携し、本荘・九品寺地区で開催 (6 回、102 名)                                                        |
| データベース利用説明会          | 4月         |            | SciFinder 利用説明会を黒髪地区、大江地区で開催 (2 回、60 名)                                               |

出典：学生委員会資料等を基に作成

資料 7-2-②-C 学部・大学院における学習相談・履修指導に係る組織的な取組の概要

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/fukurikousei/gakuseishien>

| 学部等名      | クラス担任等                               | チューター制度/インストラクター制度                                                                    | オフィスアワー等                                   |
|-----------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 文学部       | ゼミ指導教員が兼務                            | 留学生にはチューター制度があるが、日本人学生には特になし。                                                         | 全教員が実施                                     |
| 教育学部      | クラスに主・副担任 (1 年次)、学科の主任と教務委員 (2～4 年次) | 学生支援室に学生支援アドバイザー 3 名配置                                                                | 全教員が実施                                     |
| 法学部       | 演習指導教員が兼務                            | —                                                                                     | 全教員が実施                                     |
| 理学部       | クラス担任                                | 教員 1 人に学生 3 名                                                                         | 全教員が実施                                     |
| 医学部医学科    | 履修指導、成績確認等                           | チュートリアル実習等の学習指導                                                                       | 随時メール対応                                    |
| 医学部保健学科   | 各学年にクラス担任                            | 助産師国家試験等                                                                              | —                                          |
| 薬学部       | 履修指導、成績確認等                           | 特別実習指導教員が担当                                                                           | 随時メール対応                                    |
| 工学部       | 全学科で学年担任                             | 履修計画確認、個人面接、履修指導                                                                      | 学科単位で実施                                    |
| 教育学研究科    | 各専修主任と教務委員                           | 学生支援室に学生支援アドバイザー 3 名配置                                                                | 随時対応                                       |
| 社会文化科学研究科 | 社会人大学院教育支援センタースタッフ<br>正・副指導教員        | 社会人大学院教育支援センターによるサポート・学習支援。教授システム学専攻での、指導教員による、学習状況と教員の指導状況が記録される e ラーニングシステムを用いた学習指導 | 随時メール対応<br>教授システム学専攻は、東京・大阪オフィスでオフィスアワーを実施 |
| 自然科学研究科   | 主任指導 1 名副指導教員 2 名からなる研究指導委員会を組織      | 研究室単位で学習相談、助言、支援を行っている。各専攻に学生委員と教務委員をおいている。                                           | 随時対応                                       |
| 医学教育部     | 特になし                                 | HIGO プログラムについては、メンターとして学生 1 名につき教員 1 名を配置。                                            | 随時対応                                       |
| 薬学教育部     | 指導教員                                 | —                                                                                     | 随時メール対応                                    |
| 保健学教育部    | 指導教員                                 | —                                                                                     | 全教員が実施                                     |
| 法曹養成研究科   | 各学年にチーフインストラクターを 1 名配置               | 学生一人ひとりに専任教員 2 人のインストラクターがつき、学習面・生活面の相談を行うインストラクター制度                                  | 全教員が実施                                     |

出典：組織評価自己評価書を基に作成

## 資料 7-2-②-D グローバル教育カレッジにおける留学生チューター数の推移

| 平成 22 年度               | 平成 23 年度              | 平成 24 年度               | 平成 25 年度               | 平成 26 年度               |
|------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 前学期 105 人<br>後学期 120 人 | 前学期 60 人<br>後学期 155 人 | 前学期 102 人<br>後学期 189 人 | 前学期 127 人<br>後学期 185 人 | 前学期 122 人<br>後学期 208 人 |

出典：国際戦略ユニット調査資料を基に作成

## 資料 7-2-②-E Handbook for International Students (留学生の手引き)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikoku.jinryuugakusei>

## 資料 7-2-②-F 障がい者に対する支援

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/fukurikousei/syougaisyasien>

## 資料 7-2-②-G ノートテイク事業の実施状況

|                     | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|---------------------|----------|----------|----------|
| 支援が必要な学生数           | 1        | 1        | 2        |
| ノートテイク登録者数          | 31       | 25       | 28       |
| ノートテイクに関する学内講習会参加者数 | 30       | 16       | 17       |

出典：学務ユニット調査資料を基に作成

## 資料 7-2-②-H 社会人学生のニーズへの対応状況

| 研究科等名     | 要望等                                          | 対応状況                                                                                         |
|-----------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育学研究科    | 修了後の人的交流の活性化<br>既修了生との研究相談・交流の活性化<br>e ラーニング | 連絡ネットワークの作成<br>年次を超えた連絡ネットワーク作成の検討<br>e ラーニングの早期実施、充実にむけ検討を進めている                             |
| 社会文化科学研究科 | ・多くの科目の e ラーニングやビデオ化                         | 医療に従事する学生のニーズに合わせて「医療教育における e ラーニング」を開講するなど対応している。                                           |
| 自然科学研究科   | 昼間の時間帯に通えない<br>掲示板を定期的に確認することが出来ない           | ・昼夜開講制を適用し、夜間等においても講義及び研究指導を行っている。<br>・研究科ホームページに web 掲示板を整備、また研究科院生のメーリングリストを整備し周知連絡を行っている。 |
| 医学教育部     | 授業の e ラーニングコンテンツの充実                          | 充足率について、平成 21 年度末時点の 37%から、平成 26 年度末時点で 65.8%に上昇し、コンテンツの充実を図った。                              |
| 薬学教育部     | なし                                           |                                                                                              |
| 保健学教育部    | 履修登録期間内に仕事のため履修登録ができないという相談あり                | 学生から電子メールで相談を受け、事務で履修登録を行った                                                                  |
| 法曹養成研究科   | 掲示板を定期的に確認することが出来ない                          | TKC 教育支援システムの web 掲示板により周知連絡を行っている                                                           |

出典：各研究科等調査を基に作成

## 【分析結果とその根拠理由】

学習支援に関する学生のニーズは、学長と学生代表との懇談会、学生相談窓口及び学生生活実態調査など複数の方法により把握に努めている。ニーズに対しては、履修登録・成績確認等を行うための学務情報システムの説明会を実施したり、履修指導担当教員、研究指導担当教員、チューター、インストラクター等による学習相談、助言・指導等の対応を行っている。

留学生については、人文社会科学・教育系、自然科学系、生命科学系の 3 地区に、国際業務専従の事務職員「国際業務推進オフィサー」を 1 名ずつ配置し、留学生の多様な相談に迅速・適切に対応する体制を整備する等グローバル教育カレッジを中心に施策を実施している。社会人学生及び障がいのある学生については、e ラーニング

コンテンツの充実やノートテイク事業の実施などの指導教員や学生ボランティアによる支援が全学的な取組として実施されている。

以上のことから、学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されており、学習相談、助言、支援が適切に行われている。また、特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への学習支援を適切に行うことのできる状況にあり、また、必要に応じて学習支援が行われていると判断する。

**観点 7-2-③： 通信教育を行う課程を置いている場合には、そのための学習支援、教育相談が適切に行われているか。**

該当なし

**観点 7-2-④： 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう支援が適切に行われているか。**

**【観点に係る状況】**

本学では、課外活動を教育の重要な要素として捉え、体育系公認サークル 42 団体（1,010 名参加）、文化系公認サークル 35 団体（740 名参加）を熊本大学本学公式ウェブサイトで紹介している【資料 7-2-④-A】。課外活動を行うための施設を整備しており、課外活動への財政面における支援を行っている【資料 7-2-④-B~D】。また、学長と体育会、文化部会及び公認サークル指導者との懇談会の実施など、学生委員会、顧問教員会及びサークルリーダー会議との連携強化を図るなど活動を支援している【資料 7-2-④-E, J】。学長と体育会、文化部会及び外部指導者との懇談会を設け、学生団体からの要望や意見を聴取している【資料 7-2-④-F】。課外活動等において特に顕著な業績を上げた学生個人・団体には学長による学生表彰を行っている【資料 7-2-④-G】。

その他、本学では学生自らが企画し、自主性、創造性、独創性を育み、社会で活躍できる能力を高めることを目的に、平成 20 年度から学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」を実施している。環境保全活動や地域連携活動等、社会貢献に関する取組のうち、優れたものに対して大学が経済的支援を行い、最優秀企画については、学長表彰の対象としている【資料 7-2-④-H】。

また、学生の社会貢献活動支援の一つとして、ボランティア情報を掲示して周知している。特に社会のニーズが高いボランティアについては大学が支援を行っている【資料 7-2-④-I】。

資料 7-2-④-A サークル紹介状況 (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/kagaikatudou>)

## 資料 7-2-④-B 課外活動施設

| 棟 名                 | 部屋数 | 面積 (㎡) | 種 別 等                                                                      |
|---------------------|-----|--------|----------------------------------------------------------------------------|
| 北地区学生会館 A 棟 (東光会館棟) |     |        |                                                                            |
| 課外活動施設関係            | 9   | 1,474  | 大集会室(1) [501㎡]、音楽室(1) [100㎡]、集会室(5) [322㎡]、和室(2) [46㎡]、その他 [505㎡]          |
| 福利厚生施設関係            | -   | 2,001  | 食堂[622㎡]、厨房[263㎡]、購買関係[500㎡]、機械室[46㎡]、その他[570㎡]                            |
| 北地区学生会館 B 棟 (サークル棟) |     |        |                                                                            |
| 課外活動施設関係            | 5   | 590    | 体育会本部室(1) [74㎡]、文化部会室(1) [52㎡]、紫熊祭本部室(1) [57㎡]、ミーティング室(2) [118㎡]、その他[289㎡] |
| 福利厚生施設関係            | -   | 33     | 理髪所[33㎡]                                                                   |

出典：熊本大学概要を基に作成

## 資料 7-2-④-C 体育施設

| 地 区                 | 施 設 名       | 面 積 等                |
|---------------------|-------------|----------------------|
| 黒 髪                 | 陸上競技場       | 1面(トラック300メートル、7コース) |
|                     | ラグビー場       | 1面                   |
|                     | サッカー場       | 1面                   |
|                     | テニスコート      | 4面(教育学部東教場)          |
|                     | プール         | 50メートル 8コース          |
|                     | 体育館         | 2棟 5,016㎡            |
|                     | 体育器具庫       | 3棟 736㎡              |
| 渡 鹿<br>(大江総合運動場)    | 野球場         | 1面(両翼88m、中堅110m)     |
|                     | テニスコート      | 8面                   |
|                     | アーチェリー場     | 1基(10人立)             |
|                     | 弓道場         | 1棟(8人立)、191㎡         |
|                     | 体育館         | 1棟 990㎡              |
|                     | 自動車練習場      | 1面 2,378㎡            |
|                     | 合宿研修棟       | 1棟 1,068㎡            |
|                     | 体育器具庫       | 1棟 1,068㎡            |
| 本 荘・九 品<br>寺        | テニスコート      | 1面                   |
|                     | 体育館(武道場を含む) | 1棟 1,446㎡            |
| 大 江<br>(薬学部)        | 運動場         | 1面                   |
|                     | テニスコート      | 1面                   |
|                     | 体育館         | 1棟 1,071㎡            |
| 三 角<br>(宇城市<br>三角町) | ヨット用艇庫      | 1棟 121㎡              |
|                     | 合宿所         | 1棟 59㎡               |
| 広 木                 | 漕艇用艇庫       | 1棟 225㎡(土地は熊本市から借用)  |

出典：熊本大学概要を基に作成

## 資料 7-2-④-D サークル等に対する支援経費の推移 (単位：円)

| 年度       | 公認団体数 | 所属学生数(人) |         | 補助金額         |
|----------|-------|----------|---------|--------------|
|          |       |          | うち女子学生数 |              |
| 平成 22 年度 | 80    | 1, 731   | 726     | 12, 563, 380 |
| 平成 23 年度 | 77    | 1, 899   | 760     | 14, 165, 213 |
| 平成 24 年度 | 76    | 1, 894   | 814     | 27, 876, 773 |
| 平成 25 年度 | 75    | 1, 979   | 831     | 17, 478, 000 |
| 平成 26 年度 | 77    | 2, 115   | 899     | 16, 661, 246 |

※平成 24 年度の補助金額増加の要因は、プール改修工事等 (12,743,000 円) に伴うもの

出典：学務ユニット調査資料を基に作成

## 資料 7-2-④-E 学生委員会、顧問教員会、サークルリーダー会議が連携した取組等

| 年度       | 主な取組等                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 22 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生委員会へ阿蘇耐久遠歩大会企画及び熊粋祭企画の報告</li> <li>・学生支援部と熊粋祭実行委員会との定期的な話し合いを行い、学生委員会へ報告</li> <li>・学長と体育会との懇談会を実施</li> <li>・学長と公認サークル指導者との懇談会を実施</li> </ul>                                                                    |
| 平成 23 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生委員会へ阿蘇耐久遠歩大会企画及び熊粋祭企画の報告</li> <li>・学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」の募集要項の審議及び選考、報告会の実施</li> <li>・学生支援部と熊粋祭実行委員会との定期的な話し合いを行い、学生委員会へ報告</li> <li>・学長と体育会及び文化部会との懇談会を実施</li> <li>・学長と公認サークル指導者との懇談会を実施</li> </ul>       |
| 平成 24 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生委員会へ阿蘇耐久遠歩大会企画及び紫熊祭企画の報告</li> <li>・学生支援部と紫熊祭実行委員会との定期的な話し合いを行い、学生委員会へ報告</li> <li>・学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」の募集要項の審議及び選考、報告会の実施</li> <li>・学長と体育会及び文化部会との懇談会を実施</li> <li>・学長と公認サークル指導者との懇談会を実施</li> </ul>       |
| 平成 25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生委員会において、阿蘇耐久遠歩記念大会企画及び紫熊祭企画の審議</li> <li>・学生支援部と熊粋祭実行委員会との定期的な話し合いを行い、学生委員会へ報告</li> <li>・学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」の募集要項の審議及び選考、報告会の実施</li> <li>・学長と体育会及び文化部会との懇談会を実施</li> <li>・学長と公認サークル指導者との懇談会を実施</li> </ul> |
| 平成 26 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生委員会において、阿蘇耐久遠歩記念大会企画及び紫熊祭企画の審議</li> <li>・学生支援部と紫熊祭実行委員会との定期的な話し合いを行い、学生委員会へ報告</li> <li>・学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」の募集要項の審議及び選考、報告会の実施</li> <li>・学長と体育会及び文化部会との懇談会を実施</li> <li>・学長と公認サークル指導者との懇談会を実施</li> </ul> |

出典：学務ユニット調査資料等を基に作成

## 資料 7-2-④-F 学長と体育会との懇談会風景



出典：学長と体育会との懇談会風景から抜粋

## 資料 7-2-④-G 熊本大学学生表彰規則

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/kagaikatudou/hyoushou/kisoku.pdf/view>

## 資料 7-2-④-H 「きらめきユースプロジェクト」における支援状況

| 年度       | 支援企画数 | 主な活動内容                                    | 支援額(円)    |
|----------|-------|-------------------------------------------|-----------|
| 平成 22 年度 | 11    | 「天草の海の現状」地域社会貢献事業等                        | 1,349,911 |
| 平成 23 年度 | 11    | 「国際交流推進プロジェクト」キャンパス活性化事業等                 | 2,094,431 |
| 平成 24 年度 | 17    | 「入院している子供への学習及びボランティア」地域社会貢献事業等           | 2,683,760 |
| 平成 25 年度 | 19    | 「オープンキャンパス学生企画」キャンパス活性化事業等                | 2,823,962 |
| 平成 26 年度 | 23    | 「熊大発、点字教具を全国へ！盲学校に笑顔を届けるプロジェクト！」地域社会貢献事業等 | 2,602,777 |

出典：学務ユニット調査資料等を基に作成

## 資料 7-2-④-I 学生のボランティア活動に対する支援状況

| 年度       | 活動内容                                   | 支援内容                       |
|----------|----------------------------------------|----------------------------|
| 平成 24 年度 | 九州北部豪雨災害に対するボランティア活動<br>(38 名参加)       | 長靴や軍手などの作業用品の支援<br>貸切バスを準備 |
| 平成 25 年度 | 豪雨災害ボランティア（阿蘇・星野村）(10<br>名参加)          | 周知及び長靴や軍手などの作業用品の支援        |
| 平成 26 年度 | 災害ボランティアを掲示にて呼びかけた。（阿<br>蘇・星野村）(5 名参加) | 周知及び長靴や軍手などの作業用品の支援        |

出典：学務ユニット調査資料を基に作成

## 資料 7-2-④-J 大学祭への支援

| 年度       | 活動内容                                                                              | 支援内容                                                                 | 支援金額（円）   |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------|
| 平成 22 年度 | 第 17 回熊粋祭：テント企画（67）・屋内企画（12）・<br>野外ステージ企画（17）実行委員会企画（13）・<br>その他企画（6）を開催。（ ）内は企画数 | ・エアロステージレンタル料及び場内照明経費<br>・可燃物等ゴミ処理経費<br>・五高記念館ライトアップ経費               | 957,298   |
| 平成 23 年度 | 第 18 回熊粋祭：テント企画（64）・屋内企画（13）・<br>野外ステージ企画（17）・その他企画（3）を開催。<br>（ ）内は企画数            | ・エアロステージレンタル料及び場内照明経費<br>・可燃物等ゴミ処理経費<br>・熊粋祭外注警備経費<br>・五高記念館ライトアップ経費 | 951,458   |
| 平成 24 年度 | 第 1 回紫熊祭：テント企画（67）・屋内企画（15）・<br>野外ステージ企画（17）・熊新プロジェクト企画<br>（25）を開催。（ ）内は企画数       | ・電力供給用布線経費<br>・可燃物等ゴミ処理経費<br>・紫熊祭外注警備経費                              | 1,054,778 |
| 平成 25 年度 | 第 2 回紫熊祭：テント企画（73）・屋内企画（18）・<br>野外ステージ企画（20）・その他企画（2）を開催。<br>（ ）内は企画数             | ・ステージ設営経費<br>・可燃物等ゴミ処理経費                                             | 998,655   |
| 平成 26 年度 | 第 3 回紫熊祭：テント企画（63）・屋内企画（19）・<br>野外ステージ企画（20）・その他企画（1）を開催。<br>（ ）内は企画数             | ・電力供給用布線経費                                                           | 870,000   |

出典：学務ユニット調査資料より作成

## 【分析結果とその根拠理由】

課外活動を教育の重要な要素として捉え、学長と体育会等公認サークル指導者との懇談会を実施し、要望や意見の聴取、また学生のサークル活動や大学祭等に対して、活動施設等の設備充実や経済的支援等、学生の自主的な課外活動が円滑に行われるよう連携を図っている。さらに、課外活動等において特に顕著な業績を上げた学生個人・団体への学生表彰や学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」などで優れた社会貢献企画などは学長表彰が実施され積極的な支援を行っている。

以上のことから、学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう支援が適切に行われていると判断する。

観点 7-2-⑤：生活支援等に関する学生のニーズが適切に把握されており、生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等に関する相談・助言体制が整備され、適切に行われているか。

また、特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことのできる状況にあり、必要に応じて生活支援等が行われているか。

【観点に係る状況】

生活支援等に関する学生のニーズは、学長と学生代表との懇談会、学生相談窓口及び学生生活実態調査（別添資料 16）等を通して、把握に努めている。学生相談室を中心に、保健センター、セクシュアル・ハラスメント防止委員会、学部・学生支援部等が連携して、学生の多様な相談に迅速・適切に対応する体制を整備している【資料 7-2-⑤-A】。学生相談室にキャンパスソーシャルワーカー（CSW）2名と職員2名を配置して、総合相談窓口機能を整備するとともに、各学部ではオフィスアワー等を設けている。保健センターについては、専任教員3名、看護師3名、学校医（併任）2名、臨床心理士1名を配置し、健康相談、学生心理相談等を行っている。学生相談室は、相談室がより学生にとって身近なものとなるよう「学生相談室だより」を作成・配布し、特定の学生への郵送も行っている。また、引きこもりがちな学生を支援するための DVD 鑑賞会、トランプ会、ナンプレ会、クリスマス会等のイベントを企画・実施し、学生同士が支え合う仕組み作りを目的として、学生相談室ボランティアを募集し、学生に「学生相談室だより」の作成やイベント企画に参加してもらう取組などを実施している【資料 7-2-⑤-B】。セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント等の各種ハラスメントの防止等に関しては、関係規則及びガイドラインを定めるとともに、対応する全学委員会の下で、一般相談窓口とは別に各学部・研究科等ごとの相談員の設置、講演会の実施、啓発パンフレットの作成・配布等を行っている【資料 7-2-⑤-C~F】。就職支援については、キャリア支援ユニットと学部等が連携して就職支援体制を強化し、就職ガイダンスや就職準備講座など多様な支援活動を行っている【資料 7-2-⑤-G】。平成 24 年度から、本学学生の就職活動を総合的に支援する KUMA★NAVI を開設し、求人情報の検索・閲覧、学内の就職支援行事（ガイダンス・セミナー）の申し込み、進路・就職相談の予約をウェブサイト（学内専用）上で迅速に行うことができ、効率的な就職活動を行う体制を整備している【資料 7-2-⑤-H】。生活支援等に関する学生相談については、近年は若干相談件数が減少しているが、主に保健センターでの相談を受けている【資料 7-2-⑤-I】。

特別な支援が必要な学生への生活支援等に関しては、留学生に対する生活支援として、留学生宿舍「国際交流会館」を有し、部屋数は計 232 部屋を有している【資料 7-2-⑤-J】。国際交流会館は、外国人留学生、研究者の増加に伴い、平成 21 年 11 月に A、B 棟に加えて C、D、E 棟を新たに建築した。また、アパートの探し方や入居手続の説明会を毎年開催するとともに、大学によるアパート入居機関保証等を実施している。留学生、外国人研究者に対するワンストップサービス体制として、グローバル教育カレッジでの支援のほか、人文社会科学・教育系、自然科学系、生命科学系の 3 地区に、「国際業務推進オフィサー」を 1 名ずつ配置し、留学生の多様な相談に迅速・適切に対応する体制を整備している。留学生チューターを配置し、学習面でのサポートに加え生活面でも留学生の相談に応じ【前掲資料 7-2-②-D】、留学生の手引き【前掲資料 7-2-②-E】、健康・安全の手引き（英語版）を作成し、留学生の学習・生活支援を行っている。さらに、本学学長が会長を務める「大学コンソーシアム熊本」において、熊本県、市、県内大学等と連携した留学生支援事業を実施し、インターンシップ事業や、地域イベントへの参加等の情報提供等、留学生と地域社会との共生を促進する取組を行っている【資料 7-2-⑤-K】。障がいのある学生等に対しては、学科等の指導教員及び学生ボランティア等によって車椅子による教室間の移動やカウンセリング等の支援が行われている【前掲資料 7-2-②-F】。

## 資料 7-2-⑤-A 学生相談室を中心とした保健センター等の連携・協力

学生相談室リーフレット <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/soudan.pdf/view>

保健センターホームページ（学内専用）(<http://hcc.kumamoto-u.ac.jp/>)

|                   |                                                                                                                              |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学生相談室<br>(総合相談窓口) | CSW 2 名、職員 2 名の体制で窓口相談に対応し、学習・研究悩みごと相談等については、保健センター、グローバル教育カレッジ、各学部等と連携して、相談員が個別に面談している。この他、学生ボランティア相談を行っている。                |
| 保健センター            | 専任教員 3 名、看護師 3 名、学校医（併任）2 名、臨床心理士 1 名の体制で、日常診療業務、定期健康診断や放射線取扱者検診等の実施に加えて、健康相談、心とからだの悩みなんでも相談、学生心理相談、生活習慣病相談、性に関する相談などを行っている。 |
| 学部・学生支援部等         | 各学部は、オフィスアワー等を設けて、様々な学生相談に応じている。また、「学生教育研究災害傷害保険」、「医学生総合補償制度」等への加入を奨励している。                                                   |

出典：学生相談室リーフレット、保健センターホームページ等を基に作成

## 資料 7-2-⑤-B 総合相談窓口としての「学生相談室」の主な取組等

| 年度       | 主な取組等                                                                                                                                                                  |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 22 年度 | 各部署が協同して学生の多様な相談に対応するため、学生支援検討会を立ち上げた。<br>初年度は 3 回実施した。                                                                                                                |
| 平成 23 年度 | 保健センターに発達障害学生専用の休憩室を設置。<br>不登校学生支援で成果を上げている大分大学から講師を招聘し、不登校とその背景にありがちな発達障がいについての理解や支援の在り方を学ぶため、講演会を開催した。                                                               |
| 平成 24 年度 | 学生相談室にキャンパスソーシャルワーカー（CSW）を 1 名配置。フルタイム非常勤。<br>支援メニューが増加し、関係教職員・保護者・外部機関との連携が強化された。相談件数が激増した。<br>支援メニュー<br>・アパート訪問<br>・外部機関や病院との連携                                      |
| 平成 25 年度 | 学生相談室の CSW を 7 月から 1 名増員（週 3 日 18 時間のパート非常勤）<br>支援メニュー<br>・友人のいない学生の余暇活動支援として、DVD 鑑賞会、トランプ会、ナンプレ会、クリスマス会など<br>・学生相談室だよりの発行・郵送を開始した。（学生ボランティアにも記事を依頼）                   |
| 平成 26 年度 | 学生相談室の CSW を 5 月から 2 名体制（フルタイム非常勤、週 5 日 30 時間のパート非常勤）<br>・学生相談室でボランティアを募集し、学生が学生をサポートする試みをはじめた。<br>（レポートの書き方の支援や理系科目の指導、トランプ会などへの参加をボランティア学生にお願いした。）<br>・相談に予約制を取り入れる。 |

出典：学生委員会資料を基に作成

## 資料 7-2-⑤-C 熊本大学ハラスメントの防止等に関する規則

([http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment\\_file/sec09.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment_file/sec09.pdf/view))

## 資料 7-2-⑤-D 熊本大学セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則

([http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment\\_file/sec06.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment_file/sec06.pdf/view))

## 資料 7-2-⑤-E 熊本大学ハラスメント(セクシュアル・ハラスメントを除く)の防止等に関するガイドライン

([http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment\\_file/sec08.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment_file/sec08.pdf/view))

## 資料 7-2-⑤-E セクシュアル・ハラスメントの防止等に関するガイドライン（抜粋）

([http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment\\_file/sec05.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/soudanmadoguchi/harassment/harassment_file/sec05.pdf/view))

## 資料 7-2-⑤-F セクシュアル・ハラスメント防止のための取組等

| 年度       | 主な取組等                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 22 年度 | 職員を対象とした研修会、セクハラ相談員を対象とした研修会、新採用事務職員研修を対象に講義、国家公務員セクシュアル・ハラスメント防止週間のメール周知及びポスター掲示 |
| 平成 23 年度 | 新採用事務職員研修を対象に講義、国家公務員セクシュアル・ハラスメント防止週間のメール周知及びポスター掲示                              |
| 平成 24 年度 | セクハラ相談員を対象とした研修会、新採用事務職員研修を対象に講義、国家公務員セクシュアル・ハラスメント防止週間のメール周知及びポスター掲示             |
| 平成 25 年度 | 新採用事務職員研修を対象に講義、国家公務員セクシュアル・ハラスメント防止週間のメール周知及びポスター掲示                              |
| 平成 26 年度 | 職員を対象とした研修会、セクハラ相談員を対象とした研修会、新採用事務職員研修を対象に講義、国家公務員セクシュアル・ハラスメント防止週間のメール周知及びポスター掲示 |

出典：セクシュアル・ハラスメント防止委員会資料等を基に作成

## 資料 7-2-⑤-G キャリア支援ユニットを中心とした全学的就職・進路支援の取組等

| 年度       | 主な取組等                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 22 年度 | 各学部と連携した就職ガイダンス（文・法・教・理・薬・工）の実施。<br>就職講座計 11 回、先輩キャリア交流会、ワークデザイン講座（職業適性検査や先輩キャリア座談会など）、キャリアデザインセミナー、ジョブスタディ、学内業界説明会、学内企業・公務員説明会、面接対策講座、就活カフェ、公務員対策講座、教員採用試験対策講座などの実施。<br>OBOG キャリアメッセージの提供（キャリア支援サイト内）。                                           |
| 平成 23 年度 | 各学部と連携した就職ガイダンス（文・法・教・理・薬・工）の実施。<br>就職講座計 11 回、先輩キャリア交流会、ワークデザイン講座（職業適性検査や先輩キャリア座談会など）、キャリアデザインセミナー、ジョブスタディ、学内業界説明会、学内企業・公務員説明会、面接対策講座、就活カフェ、中小企業合同説明会、公務員対策講座、教員採用試験対策講座などの実施。OBOG キャリアメッセージの提供（キャリア支援サイト内）。                                     |
| 平成 24 年度 | 各学部と連携した就職ガイダンス（文・法・教・理・薬・工）の実施。<br>就職講座計 11 回、先輩キャリア交流会、ワークデザイン講座（職業適性検査や先輩キャリア座談会など）、就活スタートセミナー、ジョブスタディ、学内業界説明会、学内企業・公務員説明会、面接対策講座、就活カフェ、中小企業合同説明会、公務員対策講座、教員採用試験対策講座などの実施。新就職情報システム KUMA★NAVI の導入。OBOG キャリアメッセージの提供（キャリア支援サイト内）。               |
| 平成 25 年度 | 各学部と連携した就職ガイダンス（文・法・理・薬・工・自然科学研究科）の実施。<br>就職講座計 11 回、先輩キャリア交流会、ワークデザイン講座（職業適性検査や先輩キャリア座談会など）、就活スタートセミナー、ジョブスタディ、学内業界説明会、学内企業・公務員説明会、面接対策講座、就活カフェ、公務員対策講座、教員採用試験対策講座、日経講座などの実施。<br>新就職情報システム KUMA★NAVI の運用。OBOG キャリアメッセージの提供（キャリア支援サイト内）。          |
| 平成 26 年度 | 各学部と連携した就職ガイダンス（文・法・教・理・薬・工・自然科学研究科・薬学教育部）の実施。<br>就職準備講座計 11 回、先輩キャリア交流会、ワークデザイン講座（職業適性検査や先輩キャリア座談会など）、就活スタートセミナー、ジョブスタディ、業界研究講座、学内企業・公務員説明会、面接対策講座、就活カフェ、公務員対策講座、教員採用試験対策講座、日経講座などの実施。<br>新就職情報システム KUMA★NAVI の運用。OBOG キャリアメッセージの提供（キャリア支援サイト内）。 |

出典：進路支援委員会、キャリア支援ユニット調査資料を基に作成

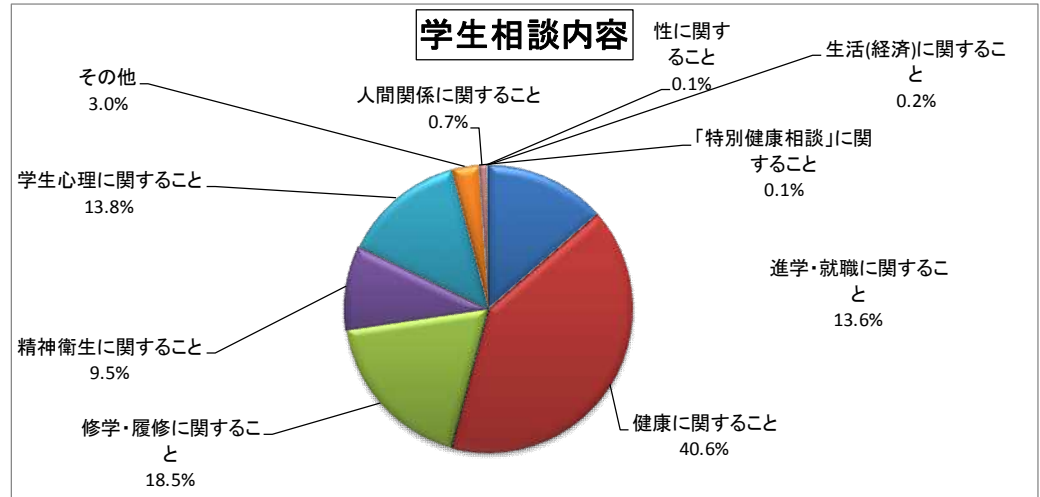
## 資料 7-2-⑤-H 熊大就活ナビ KUMA★NAVI（学内専用）

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/careersupport/kumanavi>

資料 7－2－⑤－I 学生相談実績

| 相 談 内 容        | 学生相談室 | キャリア支援<br>ユニット(課) | 保健センター | 《参考》<br>H23年度 | 《参考》<br>H24年度 | 《参考》<br>H25年度 | H26年度<br>合計 |
|----------------|-------|-------------------|--------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 修学・履修に関すること    | 1,823 |                   |        | 179           | 323           | 869           | 1,823       |
| 進学・就職に関すること    | 323   | 1,018             |        | 3,079         | 3,931         | 3,953         | 1,341       |
| 生活(経済)に関すること   | 17    |                   |        | 4             | 19            | 5             | 17          |
| 人間関係に関すること     | 74    |                   |        | 15            | 23            | 8             | 74          |
| 健康に関すること       | 7     |                   | 4,001  | 4,983         | 3,962         | 3,529         | 4,008       |
| 「特別健康相談」に関すること |       |                   | 9      | 38            | 16            | 20            | 9           |
| 精神衛生に関すること     |       |                   | 935    | 1,002         | 874           | 742           | 935         |
| 学生心理に関すること     | 640   |                   | 720    | 262           | 468           | 535           | 1,360       |
| 性に関すること        |       |                   | 8      | 5             | 7             | 6             | 8           |
| その他            | 298   |                   |        | 50            | 57            | 180           | 298         |
| 計              | 3,182 | 1,018             | 5,673  | 9,617         | 9,680         | 9,847         | 9,873       |

※平成26年度実績



出典：学務ユニット、キャリア支援ユニット調査資料を基に作成

資料 7－2－⑤－J 国際交流会館の概要

| 入居条件：1. 熊本大学に在籍する外国人留学生とその家族<br>2. 熊本大学で教育研究する外国人研究者とその家族<br>3. その他、国際化推進センター長が認めた者 |           |     |    |    |    |    |     |                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----|----|----|----|----|-----|--------------------------------------------------------|
|                                                                                     |           | 居室数 |    |    |    |    | 合計  | 共用施設                                                   |
| 部屋の種類                                                                               | 面積 (㎡)    | A   | B  | C  | D  | E  |     |                                                        |
| 家族室                                                                                 | 51.3-47.9 | 3   | 4  | －  | －  | －  | 7   | 談話室1、研修室1<br>和室1、共用ロビー1<br>多目的室1、ラウンジ1<br>洗濯室10<br>事務室 |
| 夫婦室                                                                                 | 34.2-31.9 | 3   | 3  | －  | －  | －  | 6   |                                                        |
| 单身室                                                                                 | 17.1-15.9 | 49  | 50 | －  | －  | 48 | 147 |                                                        |
| シェアタイプ                                                                              | 8.3       | －   | －  | 36 | 36 | －  | 72  |                                                        |
| 室数の計                                                                                |           | 55  | 57 | 36 | 36 | 48 | 232 |                                                        |

出典：熊本大学概要を基に作成

資料 7－2－⑤－K 大学コンソーシアム熊本における留学生支援事業

| 事業名                            | 参加学生数等       |
|--------------------------------|--------------|
| H24:留学生と企業の雇用ニーズを結びつけるインターンシップ | 留学生7名マッチング成功 |
| H25:東アジア留学生インターンシップ            | 留学生5名参加      |

出典：各事業年度に係る業務の実績に関する報告書より

### 【分析結果とその根拠理由】

学長と学生代表との懇談会、学生相談窓口及び学生生活実態調査による生活支援等のニーズを把握し対応している。また、学生相談室を中心に、保健センター、関係委員会等が連携した相談体制を整備し、生活・学習・研究悩みごと相談等に適切に対応している。各種ハラスメントの防止等に関しては、関係規則等の整備、相談体制及び毎年度の新規採用事務職員への講義や隔年のセクハラ相談員への研修会、ポスター掲示など啓発活動等の充実に努めている。また、キャリア支援ユニットと学部等が連携して就職支援体制を強化し、多様な支援活動を行っている。

また、特別な支援が必要な学生に関しては、外国人留学生、研究者の増加に伴い、留学生の宿舎である国際交流会館を増築し、民間アパート入居時の機関保証等を行うなどの生活支援を実施している。さらに、留学生、外国人研究者に対するワンストップサービス体制として、人文社会科学・教育系、自然科学系、生命科学系の3地区に、国際業務推進オフィサーを1名ずつ配置し、留学生の多様な相談に迅速・適切に対応する体制を整備している。障がい者対応としては、ボランティア等による支援等が行われている。また、学生相談室は、「学生相談室だより」を作成・発行し、一部学生には郵送を開始したほか、引きこもりがちな学生を支援するためDVD鑑賞会等のイベントを企画・実施するとともに、学生同士が支え合う仕組み作りを目的として、学生相談室ボランティアを募集し、「学生相談室だより」の作成やイベント企画に参加してもらう取組を実施している。

以上のことから、生活支援等に関する学生のニーズが適切に把握されており、生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等に関する相談・助言体制が整備され、また、特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことのできる状況にあり、必要に応じて生活支援等が行われていると判断する。

### 観点 7-2-⑥： 学生に対する経済面の援助が適切に行われているか。

#### 【観点に係る状況】

学生の経済面の援助については、入学料免除制度、授業料免除制度による支援、各種奨学金にかかる応募支援等を実施している。入学料及び授業料は、規則に基づき必要な免除・徴収猶予を行っており、入学料の免除者は平成26年度で63名、徴収猶予者は226名であった。授業料免除については、学力基準を満たした者について、家計基準により全額あるいは半額免除を審査し、平成26年度は半額免除1,597名、全額免除934名を決定した。

【資料 7-2-⑥-A～C】。また、平成23年度から、東日本大震災等の災害により被災した学部志願者の入学検定料の免除の特例措置を実施している【資料 7-2-⑥-D】。学生への周知に関しては、熊本大学本学公式ウェブサイトに掲載するとともに、各学部等の掲示板により周知を行っている。

奨学金は、日本学生支援機構の奨学金制度のほか、地方公共団体、財団法人等の奨学制度の情報を本学本学公式ウェブサイトに掲載し【資料 7-2-⑥-E】、募集通知等があった際には、迅速に各学部等に掲示し周知するなどの支援をしている。そのほか、大学独自の奨学金制度としての熊本大学大学院博士課程奨学金があり、入学試験の成績、学業又は学術研究活動において特に優秀な成果を修めたと認める場合に返還不要の奨学金を給付する（KDS）、大学院課程に入学する学生をリサーチ・アシスタント（RA）として雇用し、その対価として年間授業料の半額相当を経済的に支援（KWS）している【資料 7-2-⑥-F】。法曹養成研究科では、熊本大学法科大学院奨学金、医学部医学科では、熊本県医師修学資金貸与制度、薬学部では、熊薬125周年記念甲斐原守夫奨学金を設立している【資料 7-2-⑥-G】。各種奨学金の採用実績は、日本学生支援機構では、学士課程第1種、第2種及び併用で416名の申請者に対し400名採用（96%）、大学院課程で同252名の申請者に対し229名採用（91%）など、多くの経済面の援助が行われている【資料 7-2-⑥-H】。留学生に関しては、熊本大学博士課程奨学金

KDSにおいて、私費留学生特別枠を設けるとともに、各種留学生対象の奨学金制度については留学生の手引き【前掲資料7-2-②-E】や、グローバル教育カレッジ、各学部等掲示板等により周知している。

また、学生寄宿舍（定員280人）を備え、低額の寄宿舍料で入居させるなど、学生の経済的負担の軽減に努めている【資料7-2-⑥-I~K】。経済面での支援に関する学生のニーズに関しては、ニーズの把握に努め、要望等に対し対応している【資料7-2-⑥-L】。

資料7-2-⑥-A 入学料、授業料及び寄宿料の免除並びに入学料及び授業料の徴収猶予取扱規則

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000226.htm>

授業料免除に係る学力基準及び家計基準

学力基準：[http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku\\_zyugyou/jugyoryo\\_menjo/menjo1.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku_zyugyou/jugyoryo_menjo/menjo1.pdf/view)

家計基準：[http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku\\_zyugyou/jugyoryo\\_menjo/menjo2.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku_zyugyou/jugyoryo_menjo/menjo2.pdf/view)

資料7-2-⑥-B 入学料免除者数と徴収猶予者数の推移

|           | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 免除者数(人)   | 66     | 59     | 62     | 61     | 63     |
| 徴収猶予者数(人) | 218    | 196    | 206    | 220    | 226    |

出典：学務ユニット調査資料等を基に作成

資料7-2-⑥-C 授業料免除における半額免除者数、全学免除者数並びに免除合計額の推移

|           | 平成22年度  | 平成23年度  | 平成24年度  | 平成25年度  | 平成26年度  |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 半額免除者数(人) | 2,199   | 1,934   | 1,804   | 1,700   | 1,597   |
| 全学免除者数(人) | 145     | 464     | 685     | 824     | 934     |
| 合 計(人)    | 2,344   | 2,398   | 2,489   | 2,524   | 2,531   |
| 免除合計額(千円) | 334,478 | 384,310 | 424,057 | 447,073 | 463,228 |

出典：学務ユニット調査資料等を基に作成

資料7-2-⑥-D 東日本大震災等の災害により被災した学部志願者の入学検定料の免除の特例措置

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/katudou/earthquake/support#04>

資料7-2-⑥-E 奨学金の概要（平成26年度）

[http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku\\_zyugyou/shogakukin](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku_zyugyou/shogakukin)

資料7-2-⑥-F 熊本大学大学院博士課程奨学金（KDS）（平成26年度）

[http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku\\_zyugyou/shogakukin/kds.pdf/view](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku_zyugyou/shogakukin/kds.pdf/view)

KDSの概要：本学独自の博士課程奨学制度。平成21年度から大学院博士課程に入学する学生をリサーチ・アシスタント（RA）として雇用し、その対価として年間授業料の半額相当の経済的支援を行うもの。  
（担当：博士課程のある大学院教務担当）

資料7-2-⑥-G 大学独自の奨学金

[http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku\\_zyugyou/shogakukin/index#ku](http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/nyugaku_zyugyou/shogakukin/index#ku)

- ・熊本大学法科大学院奨学金（平成 26 年度）

<http://www.ls.kumamoto-u.ac.jp/examination/expenses.html>

- ・熊本県医師修学資金貸与制度（平成 26 年度）

[http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medical/images/img\\_23n\\_ishi\\_syugaku\\_shikin.pdf](http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medical/images/img_23n_ishi_syugaku_shikin.pdf)

資料 7-2-⑥-H 各種奨学金採用実績

| 区分  | 奨学金団体      |                       | 給付区分 | 在学採用申請者数 | 在学採用数(人) | 貸与額(円)                                                                            | 採用率  |
|-----|------------|-----------------------|------|----------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|
| 学 部 | 日本学生支援機構   |                       | 第一種  | 416      | 194      | 3, 4, 5, 5.1 万から選択                                                                | 96%  |
|     |            |                       | 第二種  |          | 174      | 3, 5, 8, 10, 12 万から選択                                                             |      |
|     |            |                       | 併用   |          | 32       |                                                                                   |      |
|     | その他        |                       | —    | 51       | 35       |                                                                                   | 69%  |
|     | 医学部<br>医学科 | 医師修学資金貸与制度            | 地域枠  | 10       | 5        | ① 入学科相当額<br>282,000 円<br>② 授業料相当額<br>535,800 円（年額）<br>③ 生活費相当額<br>（毎月貸与：75,000 円） | 50%  |
|     |            |                       | 一般枠  | 5        | 5        |                                                                                   | 100% |
|     | 薬学部        | 熊薬125周年記念<br>甲斐原守夫奨学金 |      | 2        | 2        | 入学時250,000円<br>月額20,000円                                                          | 100% |
| 大学院 | 日本学生支援機構   |                       | 第一種  | 252      | 106      | 5, 8, 8. 8, 12. 2 万から選択                                                           | 91%  |
|     |            |                       | 第二種  |          | 113      | 5, 8, 10, 13, 15 万から選択                                                            |      |
|     |            |                       | 併用   |          | 10       |                                                                                   |      |
|     | 熊本大学       | 博士課程奨学金給付制度（KDS）      | —    | 62       | 47       | 年間授業料相当額の給付（返還不要）                                                                 | 76%  |
|     |            | 博士課程奨学制度（KWS）         | 前期   | 68       | 68       | RA等として雇用し、その対価として年間授業料半額相当額を支給                                                    | 100% |
|     |            |                       | 後期   | 67       | 67       |                                                                                   | 100% |
|     |            | 法科大学院奨学金              | —    | —        | 19       | 当学期の授業料相当額の給付（返還不要）                                                               | —    |
|     | その他        |                       | —    | 22       | 11       |                                                                                   | 50%  |

※平成26年度実績

※医師修学資金貸与制度の「在学採用申請者数」欄は地域枠推薦入試志願者を、「在学採用数（人）」欄は、地域枠推薦入試合格者数を指す。

※博士課程奨学金給付制度（KDS）の「在学採用申請者数」欄は推薦数を指す。

出典：各部局調査資料を基に作成

資料 7-2-⑥-I 学生寄宿舎入居状況（各年度：4 月現在）

| 区 分    | 収容定員(人) | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|--------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
|        |         | 入居者数(人)  | 入居者数(人)  | 入居者数(人)  | 入居者数(人)  | 入居者数(人)  |
| 男子 A 棟 | 100     | 94       | 90       | 92       | 90       | 92       |
| 男子 B 棟 | 100     | 93       | 91       | 94       | 90       | 92       |
| 女子寮    | 80      | 77       | 78       | 77       | 76       | 77       |
| 計      | 280     | 264      | 259      | 263      | 256      | 261      |

出典：学務ユニット調査を基に作成

## 資料 7-2-⑥-J 熊本大学寄宿舍規則

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000232.htm>

## 資料 7-2-⑥-K 寄宿料及び寄宿舎に関する紹介

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/fukurikousei/kishukusha>

## 資料 7-2-⑥-L 経済支援に関する学生のニーズへの対応状況

| 年度       | 要望等                                                                                                                                           | 対応状況                                                                                                                                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 23 年度 | 経済的支援を求め、授業料免除申請者数も年々増加しており、文部科学省の免除枠も増加した。学部等の免除率は1%上がり、博士課程については、5.8%から 12.5%へ大幅に拡大され、免除可能額が増額された。                                          | 免除枠の増加に伴い、免除者も増加した。また、免除枠に博士課程を新設し、学部等と分けて選考を行うことにより、より公平な免除制度とした。                                                                                         |
| 平成 24 年度 | 授業料免除の選考において、日本人学生と留学生の免除枠が同じであるため、免除者の占める割合に格差が生じていた。                                                                                        | 免除枠を日本人学生と留学生に分けることにより、それぞれの免除適格者数に対応した公平な免除制度とした。                                                                                                         |
| 平成 25 年度 | 奨学金等のホームページを充実させ、学生へ迅速かつ正確に情報を提供する。                                                                                                           | 本学の本学公式ウェブサイトに掲載していた奨学金情報について、学生が知りたい情報を、随時提供できるよう情報提供の強化を行った。                                                                                             |
| 平成 26 年度 | 奨学金のホームページを更に充実させ、申請様式をいつでも利用できるよう掲載し、利便性を図る。また、学部及び別科生の入学料免除については、現行規則では免除可能額は確保されているが免除要件が限定されているため、事実上運用できていない状況が続いていたことから、免除対象者の見直しを検討する。 | 奨学金の申請様式をホームページに掲載することにより、学生がいつでも学内外からダウンロードできるよう利便性を向上させた。また、学部及び別科生の入学料免除について検討を行った結果、入学料免除対象者の免除要件に大学院や専攻科と同様に「経済的理由」を加え、平成 27 年度入学者から運用できるよう規則の改正を行った。 |

出典：学務ユニット調査資料を基に作成

## 【分析結果とその根拠理由】

入学料・授業料免除制度を的確に運用するとともに、各種奨学金の応募支援を行って、経済的理由や東日本大震災等の災害などにより修学が困難な学生について経済面の支援が適切に行われている。これらに加えて、大学独自の奨学金制度、熊本大学大学院博士課程奨学金（KDS、KWS）等を設け、学部・研究科等においても、それぞれ特色ある支援事業を実施している。その他学生寄宿舍に低額の寄宿料で入居させるなど、経済的負担の軽減に努めている。

以上のことから、学生に対する経済面の援助が適切に行われていると判断する。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

## 【優れた点】

- 建物の耐震化については、積極的に進められた結果、ほぼ完了している。また、各地区の体育館を大規模災害時の地域の避難拠点として改修し、併せてバリアフリー化も行ったため、防災面に優れたキャンパスとなっている。
- キャンパス内のギガネットワークの敷設とともに、アクセスポイントを約 450 箇所と多数設置し、コンピュータ端末も約 1300 台を設置するなど、ICT 環境を整備し、教育研究活動に有効に活用している。
- 統合認証システムを統合窓口として学務情報システム（SOSEKI）により、履修登録、成績参照等が行われ、また、英語の自立的学習を支援する熊大 CALL など学外からも利用可能である修学支援の ICT 活用が有効に機能している。

- 図書館中央館を平成 25 年度にリニューアルし、閲覧室、収容力の拡大を行うとともにラーニングコモンズを整備し、グループ学習のできる「動」のスペースと静かに研究や学習に取り組む「静」のスペースを区分し、夜 22 時までの開館など図書館として機能を充実させた。
- 学部毎に自主学習スペースを確保するとともに、講義室などを開放し、図書館のグループ学習スペースを活用するなど、自主学習環境を有効に利用している。
- 学生自主企画支援事業「きらめきユースプロジェクト」を実施し、環境保全活動や地域連携活動等、社会貢献に関する取組のうち、優れたものに対して大学が経済的支援を行い、学生の自主性、創造性、独創性を育み、社会で活躍できる能力を高める企画を行っている。
- 留学生、外国人研究者に対するワンストップサービス体制として、人文社会科学・教育系、自然科学系、生命科学系の 3 地区に、国際業務推進オフィサーを 1 名ずつ配置し、留学生の多様な相談に迅速・適切に対応する体制を整備している。
- 学生相談室は、「学生相談室だより」を作成・発行し、配布及び一部学生には郵送を開始したほか、引きこもりがちな学生を支援するため DVD 鑑賞会等のイベントを企画・実施するとともに、学生同士が支え合う仕組み作りを目的として、学生相談室ボランティアを募集し、「学生相談室だより」の作成やイベント企画に参加してもらう取組も開始した。

【改善を要する点】

- 附属図書館に整備されたグループ学習スペース（ラーニングコモンズ）を、より一層活用するための取組が求められる。